

記 事
-----

昭和39年11月～昭和45年8月31日（本誌14号収録以降）の間に学会誌などに掲載された総説および研究論文として報告したものは次の通りである。

## I. 総 説

### 1) ファルマシア

- (1) 堀 幹夫：有機デセットイオウ化合物チアベンゼンの研究 (**4**, 240 (1968)).
- (2) 堀 幹夫：チアベンゼンからセレナベンゼンへの研究 (**6**, 229 (1970)).

### 2) 薬 局

- (1) 加藤好夫：Royal Jelly の抗菌性について (**15**, 641 (1964)).
- (2) 杉浦 衛, 田中英郎：微生物酵素の開発と利用(1)セルラーゼについて (**17**, 163 (1966)).
- (3) 有馬 啓, 杉浦 衛, 仲 恭寛：微生物酵素の開発と利用(2)リポプロテインリパーゼについて (**17**, 449 (1966)).
- (4) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 小木曾太郎：微生物酵素の開発と利用(3)微生物アミラーゼについて (その1) (**17**, 897 (1966)).
- (5) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 伊藤万蔵：微生物酵素の開発と利用(4)微生物アミラーゼについて (その2) (**17**, 1021 (1966)).
- (6) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 長瀬啓三：微生物酵素の開発と利用(5)微生物リパーゼについて (その1) (**17**, 1425 (1966)).
- (7) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 長瀬啓三：微生物酵素の開発と利用(6)微生物リパーゼについて (その2) (**17**, 1569 (1966)).
- (8) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 加藤精宏：微生物酵素の開発と利用(7)微生物プロティナーゼについて (その1) (**18**, 487 (1967)).
- (9) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 加藤精宏：微生物酵素の開発と利用(8)微生物プロティナーゼについて (その2) (**18**, 631 (1967)).
- (10) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 加藤精宏：微生物酵素の開発と利用(9)微生物プロティナーゼについて (その3) (**18**, 905 (1967)).
- (11) 江田昭英, 服部好伯：薬物アレルギー (**20**, 55 (1969)).
- (12) 杉浦 衛：消炎酵素の開発現況とその製剤化 (**21**, 697 (1970)).

### 3) 薬局の領域

- (1) 杉浦 衛, 伊藤万蔵：アミラーゼの測定法について(1) (**14**, 18 (1965)).
- (2) 杉浦 衛, 伊藤万蔵：アミラーゼの新しい概念 (**14**, 25 (1965)).
- (3) 杉浦 衛, 伊藤万蔵：消化酵素としてのアミラーゼ (**15**, 18 (1966)).
- (4) 杉浦 衛, 伊藤万蔵：臨床酵素としてのアミラーゼ (**15**, 25 (1966)).
- (5) 杉浦 衛, 伊藤万蔵：アミラーゼ測定法について(2) (**15**, 36 (1966)).
- (6) 江田昭英：気管支喘息とアレルギー (**17**, 75 (1968)).

### 4) 化 学

- (1) 伊藤一男, 牧 敬文：環状ケトン類の求核附加反応の立体化学(1) (**21**, 54 (1966)).
- (2) 伊藤一男, 牧 敬文：環状ケトン類の求核附加反応の立体化学(2) (**21**, 78 (1966)).

### 5) 分析化学

- (1) 町田勝之輔, 花井一彦：赤外線吸収およびラマンスペクトル (進歩総説, **15**, 16R (1966)).

## 6) 有機合成化学協会誌

- (1) 牧 敬文, 岸田鴻作: 縮合環核間位における C-C 結合の形成 (**23**, 476 (1965)).

## 7) アレルギー

- (1) 江田昭英, 和田 浩: SRS およびその関連物質について (**17**, 767 (1968)).

## 8) 金 属

- (1) 小瀬洋喜: 金属の毒性を告発する (**39**, (22), 33 (1969)).

## 9) スクールハイジーン

- (1) 小瀬洋喜: プール病予防の目標に向けて (**2**, (3), 32 (1968)).

## 10) クリニシアン

- (1) 江田昭英: SRS の本体 (**17**, 23 (1970)).

## 11) 水処理技術

- (1) 小瀬洋喜: 学校用水の衛生管理 (**6**, (2), 13, (1965)).

## 12) 健康教室

- (1) 小瀬洋喜: 学校用水の衛生管理 (**6**, (2), 14 (1965)).  
 (2) 小瀬洋喜: 学校環境衛生の新しい問題点 (**20**, (1), 13 ; (2) 13 (1969)).

## 13) 化学と薬学の教室

- (1) 岩本多喜男, 村上孝夫, 千田重男, 鈴木郁生: くすり (**20**, 2 (1968)).  
 (2) 杉浦 衛, 小木曾太郎: 酵素剤—その経時変化と安定化(1) (**28**, 14 (1970)).

## 14) 生薬学雑誌

- (1) 水野瑞夫: 黄連の分布 (**23**, 39 (1969)).

## 15) 岐阜薬科大学紀要

- (1) 牧 敬文, 鈴木巳喜男: ステロイド系の抗生物質 (**15**, 1 (1965)).  
 (2) 杉浦衛, 伊藤万蔵: Nucleodeaminase について (**15**, 9 (1965)).  
 (3) 吉田甚吉: Private Brand について (**15**, 23 (1965)).  
 (4) 杉浦 衛, 田中英郎: 臨床酵素としての Plasmin について (**16**, 90 (1966)).  
 (5) 堀 幹夫, 伴 正敏: シグマ結合移動反応 (**17**, 1 (1967)).  
 (6) 渡辺周一, 谷 志郎, 天野純二, 小瀬洋喜: 岐阜県の温泉 (その1) 岐阜における温泉行政 (**17**, 20 (1967)).  
 (7) 渡辺周一, 谷 志郎, 天野純二, 小瀬洋喜: 岐阜県の温泉 (その2) 下呂温泉 (**17**, 29 (1967)).  
 (8) 訳: 堀 幹夫, 永井登喜子: Vladimir Prelog' "Das asymmetrische Atom, Chiralität und Pseudoasymmetrie" (**18**, 1 (1968)).

## II 学会誌発表

## 1) 薬学雑誌

- (1) 大野武男, 森 逸男: フルオレセインの臭素置換体の合成 (**84**, 1134 (1964)).  
 (2) 豊吉一美, 加藤勝彦, 山田勝代, 菰田多娃, 栗本珍彦: 有機水銀化合物の研究 (第4報) テオフィリン誘導体を含む有機水銀化合物の抗菌性 (**84**, 1149 (1964)).  
 (3) 富士谷憲徳, 青柳良明, 正木幸雄: 2-Hydroxy-5, 4'-bis (2-methyl-6, 7-dimethoxy-1, 2, 3, 4-tetrahydroisoquinolin-1-ylmethyl) diphenyl ether の合成 (**84**, 1234 (1964)).  
 (4) 大野武男, 森 逸男: 臭素塩素混合置換フルオレセインの合成 (**85**, 101 (1965)).  
 (5) 上尾庄次郎, 上田寛一, 山本義公, 牧 敬文: タキシニンの研究 (第12報) タキシニンおよびタキシノールの構造(3) (**85**, 404 (1965)).  
 (6) 牧 敬文, 佐藤 誠, 山根一之: ピリジン誘導体におけるスマイル転位(7) (**85**, 429 (1965)).  
 (7) 高取吉太郎, 北村二郎, 今井一夫: N-メバロノイル-β-アラニンの合成とその生物学的活性に関する研究 (第1報), N-メバロノイル-β-アラニンエチルエステルの合成 (**85**, 1068 (1965)).

- (8) 高取吉太郎, 北村二郎, 今井一夫: N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの合成とその生物学的活性に関する研究 (第2報), N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの乳酸菌群に対する微生物学的活性 (85, 1070 (1965)).
- (9) 高取吉太郎, 北村二郎, 今井一夫: N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの合成とその生物学的活性に関する研究 (第3報) N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの大腸菌, 変異株に対する微生物学的活性 (85, 1074 (1965)).
- (10) 高取吉太郎, 北村二郎, 今井一夫: N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの合成とその生物学的活性に関する研究 (第4報) N-メバロノイル- $\beta$ -アラニンの真性欠落菌にたいする微生物学的活性 (85, 1078 (1965)).
- (11) 牧 敬文, 山根一之, 佐藤 誠: ピリジン誘導体におけるスマイル転位(8) (86, 50 (1966)).
- (12) 広瀬一雄, 鶴飼茂夫: フェノール誘導体とスルオキシドとの反応について (第1報) (86, 187 (1966)).
- (13) 牧 敬文, 高谷昌弘, 鈴木巳喜男: 転位反応の研究 (第12報) ピリダゾン誘導体からピラゾロン誘導体への縮環反応(4) (86, 487 (1966)).
- (14) 富士谷憲徳, 青柳良明, 正木幸雄: 防已科植物アルカロイド研究 (第224報) Dauricine 型塩基の合成 その1 2-Hydroxy-5, 4'-bis (2-methyl-6, 7-dimethoxy-1, 2, 3, 4-tetrahydroisoquinoline-1-ylmethyl) diphenyl Ether の合成 (86, 654 (1966)).
- (15) 富士谷憲徳, 正木幸雄: 防已科植物アルカロイド研究 (第225報) Dauricine 型塩基の合成 その2 2, 7-Bis (2-methyl-6, 7-dimethoxy-1, 2, 3, 4-tetrahydroisoquinolin-1-ylmethyl) dibenzo-p-dioxin の合成とその液安ナトリウム開裂反応 (86, 660 (1966)).
- (16) 高橋酉蔵, 古川 稔, 牧 敬文: 1-Phenyl-3-hydroxypyrazole-5-carboxylic acid 誘導体の合成 (86, 867 (1966)).
- (17) 高橋酉蔵, 木津弘子, 高谷昌弘, 牧 敬文: 2-インダニル尿素誘導体の合成 (86, 958 (1966)).
- (18) 高橋酉蔵, 牧 敬文, 木津弘子, 高谷昌弘, 三木藤作: ピリダゾン誘導体の研究 (第1報) 2-Phenyl-6-hydroxy-4-dimethylamino-3 (2H)-pyridazinone 誘導体の合成 (86, 1082 (1966)).
- (19) 高橋酉蔵, 牧 敬文, 木津弘子, 高谷昌弘, 三木藤作: ピリダゾン誘導体の研究 (第2報) 2-Methyl (あるいは cyclohexyl)-3 (2H)-pyridazinone 誘導体の合成 (86, 1168 (1966)).
- (20) 河合 聡: クロロホルムの分解に関する考察 (86, 1125 (1966)).
- (21) 高取吉太郎, 久田四郎, 浅野進吾, 中島敏夫: 含弗素有機化合物の合成研究 (第4報) 弗素置換アミノプロピルベンツヒドリルエーテル系化合物の合成および薬理学的研究 (87, 1109 (1967)).
- (22) 川島嘉明, 岡田寿太郎: 植物成分の抽出に関する研究 茶葉からのカフェイン抽出 (88, 729 (1968)).
- (23) 高橋酉蔵, 牧 敬文, 高谷昌弘, 木津弘子: ピリダゾン誘導体の研究 (第3報) 2-phenyl-3 (2H)-pyridazinone 誘導体の合成 (88, 784 (1968)).
- (24) 岡田寿太郎, 川島嘉明: カフェインの水中拡散係数の測定法 (88, 1251 (1968)).
- (25) 岡田寿太郎, 川島嘉明: 植物成分の抽出に関する研究 ロート根からのトロピンアルカロイド抽出: (88, 1344 (1968)).
- (26) 伊藤万蔵, 杉浦衛: *Aspergillus proteinase* に関する研究 (第1報) *Aspergillus melleus* の産生するアルカリプロティナーゼの精製結晶化ならびに酵素化学的性質について (酵素剤の研究第37報) (88, 1576 (1968)).
- (27) 伊藤万蔵, 杉浦 衛: *Aspergillus Proteinase* に関する研究 (第2報) *Aspergillus melleus* の産生する微アルカリプロティナーゼの精製結晶化ならびに酵素化学的性質について (酵素剤の研究第38報) (88, 1583 (1968)).
- (28) 伊藤万蔵, 杉浦 衛: *Aspergillus Proteinase* に関する研究 (第3報) *Aspergillus melleus Proteinase* の物理化学的性質ならびにアミノ酸組成について (酵素剤の研究, 第39報) (88, 1591 (1968)).
- (29) 千田重男, 和泉 弘, 谷本丈夫, 藤村 一: ウラシル誘導体とその関連化合物について (第7報) Bucolome 関連化合物の合成と消炎作用 (その2) (89, 254 (1969)).
- (30) 千田重男, 和泉 弘, 藤村 一: ウラシル誘導体とその関連化合物について (第8報) Bucolome 関連化合物の合成と消炎作用 (その3) (89, 260 (1969)).

- (31) 千田重男, 和泉 弘: ウラシル誘導体とその関連化合物について (第9報) Bucolome 関連化合物の合成 (その4) (**89**, 266 (1969)).
- (32) 千田重男, 和泉 弘, 広田耕作: ウラシル誘導体とその関連化合物について (第10報) Bucolome 関連化合物の合成 (その5) (**89**, 272 (1969)).
- (33) 岡田寿太郎, 川島嘉明: 植物成分の抽出に関する研究 オウバクからのベルベリン抽出 (**89**, 558, (1969)).
- (34) 杉浦 衛, 小木曾太郎: Bile-sensitive Lipase の研究 (第7報) 界面活性剤の *Mucor* Lipase におよぼす影響 (酵素剤の研究 第48報) (**89**, 1289 (1969)).
- (35) 杉浦 衛, 伊藤万蔵: *Aspergillus* Proteinase に関する研究 (第4報) *Aspergillus melleus* の産生する微アルカリプロテナーゼによる蛋白の加水分解 (酵素剤の研究 第42報) (**89**, 1325 (1969)).
- (36) 岡田寿太郎, 川島嘉明: 植物成分の抽出に関する研究 ホミカからのストリキニーネおよびブルシンの抽出: (**89**, 1345 (1969)).
- (37) 川島嘉明: 植物成分の抽出に関する研究 メギからのベルベリン抽出 (**89**, 1386 (1969)).
- (38) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 陳 方祥, 岩田忠彦: 酵素剤の分別定量に関する研究 (第3報)  $\alpha$ -キモトリプシンとプロメラインの分別定量法について (酵素剤の研究 第49報) (**89**, 1440 (1969)).
- (39) 豊吉一美, 中村 弥, 江藤秀雄: 細胞の *in vitro* における放射線感受性におよぼす 5-Hydroxy tryptaphan の影響 (**89**, 1469 (1969)).
- (40) 高橋酉蔵, 高谷昌弘, 牧 敬文: ピリダゾン誘導体の研究 (第4報) 含硫黄ピリダジノン誘導体の合成と抗菌, 抗カビ作用 (**89**, 1516 (1969)).
- (41) 高橋酉蔵, 高谷昌弘, 牧 敬文: ピリダゾン誘導体の研究 (第5報) 2-(ニトロフェニル) ピリダジノン誘導体の合成と抗菌, 抗カビ作用 (**89**, 1617 (1969)).
- (42) 杉浦 衛, 加納邦雄, 木村一昭, 平工誠治, 大野博之, 寺島 宏, 柴田邦治, 中尾恵哉: 細菌の産生する新抗炎症性物質に関する研究 (**89**, 1741 (1969)).

## 2) Chemical & Pharmaceutical Bulletin

- (1) YOSHIFUMI MAKI, MAKOTO SATO and KAZUYUKI OBATA: Studies of Steroidal  $\alpha$ -amino acids I. Synthesis of Two Epimeric-3-Amino-5- $\alpha$ -cholestane-3-carboxylic acid and their Configuration (**13**, 1777 (1965)).
- (2) SHOJIRO UYEO, YOSHIFUMI MAKI and YOSHITOMO YAMAMOTO: Taxinine XIV The Structure of Isopropylidenedihydrotaxinolactone: An Autooxidation Product of Dihydrotaxinol (**14**, 502 (1966)).
- (3) SATOSHI KAWAI, TOSHIHARU NAGATSU, TOSHIO IMANARI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines and Related Compounds (**14**, 618 (1966)).
- (4) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI, TOMIYASU YAMADA: Reactions of Ethyl- 3-Methyl-4H-benzo-1,4--thiazine-2-carboxylate with Hydrazine Derivatives (**14**, 770 (1966)).
- (5) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines using Dimethyl Sulfoxide as an Effective Solvent for Trimethylsilylation (**15**, 1493 (1967)).
- (6) MASAO TOMITA, KAZUYOSHI FUJITANI, YUKIO MASAKI, YASUKO OKAMOTO: Studies on the Alkaloids of Menispermaceous Plants CCXLIII. Syntheses of Dauricine Type Bases. (3). Synthesis of dl-Cuspidaline and dl-4'-O-Methylberbamunine (**16**, 70 (1968)).
- (7) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Reaction of Phenol Derivatives with Sulfoxides. II. A New Method of Synthesis of Monothio Derivatives of p-Benzoquinone (**16**, 195 (1968)).
- (8) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Reaction of Phenol Derivatives with Sulfoxides. III. Synthesis and Characterization of 2-Alkylthio and 2-Arylthio-5-hydroxy-p-benzoquinones (**16**, 202 (1968)).

- (9) MASAO TOMITA, KAZUYOSHI FUJITANI, YUKIO MASAKI, KUO-HSIUNG LEE: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. I. Oxidative Coupling of Corypalline and Its Metho-Salt (**16**, 251 (1968)).
- (10) MASAO TOMITA, YUKIO MASAKI, KAZUYOSHI FUJITANI: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. II. Oxidative Coupling of di-N-Methylisosalsoline (**16**, 257 (1968)).
- (11) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI, TAKASHI MASUGI: Steric Effect on the Smiles Rearrangement (**16**, 559 (1968)).
- (12) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Die Reaktion der Phenolderivate mit Sulfoxiden. IV. (einschliesslich der von Sulfiden und wasserstoffperoxid ausgehend Reaktion). Die Synthese von 4-Thiosubstituierten-1,2-Naphthoquinonderivaten (**16**, 606 (1968)).
- (13) MASAO TOMITA, YUKIO MASAKI, KAZUYOSHI FUJITANI, YOSHIRO SAKATANI: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. III. Oxidative Coupling of di-4'-O-Methyl-N-methylcoclaurine (**16**, 688 (1968)).
- (14) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines as Their Trifluoroacetates (**16**, 699 (1968)).
- (15) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of the Catecholamines as Their Trifluoroacetates in Urine and Tumor (**16**, 1091 (1968)).
- (16) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Studies on Bile-sensitive Lipase. V. Purification and Properties of Lipase from *Mucor jaranicus* (**17**, 1025 (1969)).
- (17) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Studies on Bile-sensitive Lipase VI, Effect of Bile Salts on *Mucor* Lipase (Studies on Enzymes XLI) (**17**, 1034 (1969)).
- (18) YOSHIFUMI MAKI, KAZUYUKI YAMANE: The Stereochemistry of Isopropylidenetaxinolactone (**17**, 2071 (1969)).
- (19) KENJI KAJI, MASAYUKI KUZUYA, RAYMOND N. CASTLE: Synthesis of Pyridazine Derivatives with Sulfur-Containing Substituent II. A Novel Cyclization Furnishing the Concurrent Formation of 2,7-Dibenzyl-dipyridazo [4,5-b : 4',5'-e]-1,4-dithiin-1.6 (2H, 7H)-dione and 2,8-Dibenzyl-dipyridazo [4,5-b : 4',5'-e]-1,4-dithiin-1.9 (2H,8H)-dione (**18**, 147 (1970)).
- (20) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO: Studies on Bile-sensitive Lipase. VIII Product Inhibition of *Mucor* Lipase and Role of Bile Salts and Ca<sup>2+</sup> to the Inhibition (**18**, 663 (1970)).
- (21) KENJI KAJI, MASAYUKI KUZUYA: Synthesis of Pyridazine Derivatives with Sulfur-Containing Substituent III. Two Types of Cyclization in the Concurrent Formation of 1.6-and 1.9-Disubstituted-dipyridazo [4,5-b : 4',5'-e]-1,4-dithiin Derivatives (**18**, 970 (1970)).
- (22) TOKISHI HAYASHI, KUNIMITSU HARA, SATOSHI KAWAI, TAKEO OHNO: Fluorometric Study on the Metal Chelates of Flavone Derivatives. I. Correlation between Fluorescence Intensity and structure of Beryllium Chelates (**18**, 1112 (1970)).
- 3) Acta Medica Universitatis Kagoshimaensis
- (1) KEIDA KITAHARA, TAKASHI AKIYAMA, TAKAHIKO SATO, NORIKO WATANABE: The Radioactivity in Rain Water, Settled Dust and Activated Sludge Observed at Kagoshima District. XII. (**7**, 131 (1965)).
- (2) KEIDA KITAHARA, TAKASHI AKIYAMA, TAKAHIKO SATO, and NORIKO WATANABE: The Radioactivity in Rain Water, Settled Dust and Activated Sludge Observed at Kagoshima District (**10**, 1 (1968)).
- 4) Arzneimittel Forschung
- (1) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI, HAJIME FUJIMURA: Über Uracil-Derivate und ver-

wendte Verbindungen, 6 Mitteilung 5-Alkyl-2,4,6-trioxo-perhydropyrimidin-Derivate als Antiphlogistica (17, 1519 (1967)).

5) Bulletin of the Chemical Society of Japan

- (1) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI, YUTAKA SAITO: Infrared spectra of acylureas and NN'-deuterated acylureas (42, 619 (1969)).

6) British Journal of Nutrition

- (1) S. LEPKOVSKY, T. KOIKE, M. SUGIURA, M. K. DIMICK, F. FURUTA: Pancreatic amylase in chickens fed on soya-bean diets (20, 421 (1966)).

7) Biochemica et Biophysica Acta

- (1) ISAO ISHIGURO, RIKIO SHINOHARA: Purification and Properties of Kynurenine Formamidase from Rat Liver (198, 324 (1970)).

8) Chemical Communications

- (1) M. SHIRO, T. SATO, H. KOYAMA, YOSHIFUMI MAKI, KOZI NAKANISHI, SHOZIRO UYEO: The Stereochemistry of Taxinine: X-Ray Analysis of 2,5,9,10-Tetra-*o*-acetyl-14-bromotaxinol (1966, 98).

9) Journal of the American Chemical Society

- (1) Edward. C. Taylor, YOSHIFUMI MAKI, Ben E. Evans: Photochemical addition of alcohol to amidine C=N bond (91, 5181 (1969)).

10) Journal of Biochemistry

- (1) MACHIKO MIYATA, TAKESHI MORI: Studies on Denitrification X. The "Denitrifying Enzyme" as a Nitrite Reductase and the Electron Donating System for Denitrification (66, 463 (1969)).
- (2) MACHIKO MIYATA, TERUO MATSUBARA, TAKESHI MORI: Studies on Denitrification XI. Some Properties of Nitric Oxide Reductase (66, 759 (1969)).
- (3) MACHIKO MIYATA, TAKESHI MORI: Studies on Denitrification VIII. Production of Nitric Oxide by Denitrifying Reaction in the Presence of Tetramethyl-*p*-phenylenediamine (64, 849 (1968)).

11) Journal of Chemical Society

YASUO INUBUSHI, YUKIO MASAKI, SAICHI MATSUMOTO, FUMITAKA TAKAMI: Studies on the Alkaloids of Menispermaceous Plants. Part CCXLIX. Total Synthesis of Optically Active Natural Isotetrandrine, Phaeanthine, and Tetrandrine (1547 (1969)).

12) Journal of Insect Physiology

ISAO ISHIGURO, Bernt Linzen: Bildung von Glucosiden bei zwei Insektenarten; *Locusta migratoria* und *Bombyx mori* (12, 267 (1966))

13) Japanese Journal of Medical Science and Biology

JIRO KITAMURA, KATSUTOSHI MISE: A New Generalized Transducing Phage in *Salmonella* (23, 99 (1970)).

14) Journal of Organic Chemistry

Edward. C. Taylor. YOSHIFUMI MAKI, Alexander McKillop: Thallium in Organic Synthesis V. 9-Alkylation of Purines (34, 1171 (1969)).

15) The Journal of Vitaminology

AKIRA HATANO, YOSHIO KATO: Studies on Ascorbic Acid and its Complex.(V) Behavior of Copper Ion to Ascorbic Acid (16, 99 (1970)).

16) Mie Medical Journal

- HAJIME ITO: The Research for a Toxic Agent Involved in Rotten Meat (16, 1 (1966)).
- 17) Naturwissenschaften  
KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: Synthesis and Cleavage of Dipyridazo [4,5-b:4,5-e]-1,4-dithiin-1,6-dione (51, 38 (1964)).
- 18) Spectrochimica Acta  
(1) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI: Infrared spectra of sulphamide and sulphamide-d<sub>4</sub> (22, 2065 (1966)).  
(2) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI: Infrared spectra of benzene- and pentadeuterobenzenesulphonyl compounds (24A, 1705 (1968)).
- 19) Tetrahedron Letters  
(1) MASAYASU KURONO, YOSHIFUMI MAKI, KOJI NAKANISHI, MOTOAKI OHASHI, KANICHI UEDA, SHOJIRO UYENO, M. C. WOOD, YOSHITOMO YAMAMOTO: The Stereochemistry of Taxinine (1965, 1917)  
(2) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: The Reductive Reaction of 1,2-Quinones in the Mass Spectrometer (1967, 4999).  
(3) YASUO INUBUSHI, YUKIO MASAKI, SAICHI MATSUMOTO, FUMITAKA TAKAMI: Total Synthesis of Optically active Natural Isotetrandrine, Phaeanthine and Tetrandrine (33 99 (1968)).  
(4) HIROMU NAGASHIMA, KENJI KAJI, YASUO KIKUGAWA, SHUNICHI YAMADA: The Reaction of Substituted Urea with Sodium Borohydride in Pyridine (9, 699 (1969)).
- 20) Journal of Heterocyclic Chemistry  
(1) KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: The Synthesis of Substituted Pyridazines (2, 463 (1965)).  
(2) KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: Nucleophilic Displacement of Halogen in Pyridazine with Phosphorus pentasulfide (3, 79 (1966)).  
(3) KENJI KAJI, DEAN WISE, RAYMOND N. CASTLE: Dipyridazo [4,5-b:4,5-e]-1,4-dithiins (3, 541 (1966)).
- 21) Troisieme Symposium Sur Les Composés Organiques Sulfurés (Sulfur Institute)  
MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, YUTAKA ASAHI: Reactivities in the Quasi Aromatic Ring Systems of Oxygen and Sulfur (91 (1968)).
- 22) Zeitschrift für Physiologische Chemie  
ISAO ISHIGURO, BERNT LINZEN: Präparative Isolierung und Tritium-Markierung von 3-Hydroxy-L-Kynurenin (340, 286 (1965)).
- 23) Zeitschrift für Naturforschung  
ISAO ISHIGURO, BERNT LINZEN: 3-Hydroxy-Kynurenin dei Bombyx mori rb -- Ein neuer Tryptophanmetabolit; 3-Hydroxy-Kynurenin Glucosid (21 b, 132 (1966)).
- 24) In "Journal of Chromatography"  
SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Dimethylsulfoxide as a suitable solvent for trimethylsilylation of catecholamines (25, 471 (1966)).
- 25) 薬 劑 学  
(1) 小木曾太郎, 杉浦 衛, 酵素剤の薬剤学的研究(2) Amylase 活性に及ぼす酵素製剤の制酸力の影響 (24, 141 (1964)).  
(2) 小木曾太郎, 杉浦 衛: 酵素剤の薬剤学的研究(3) 湿度・温度による消化酵素製剤中の Amylase 活性の変化 (24, 146 (1964)).

- (3) 小木曾太郎, 杉浦 衛: 酵素剤の薬剤学的研究(4) 包装形態による Amylase 活性の変化 (24, 201 (1964)).
- (4) 杉浦 衛, 加藤精宏, 田中英郎: 酵素剤の薬剤学的研究(6) Protease 活性に及ぼす界面活性剤の影響 (24, 318 (1964)).
- (5) 杉浦 衛, 長瀬啓三, 伊左治孝典, 広瀬一雄: 酵素剤の薬剤学的研究(7) *Candida* 属の生産するリパーゼについて (25, 47 (1965)).
- (6) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎, 加藤精宏: 酵素剤の研究(9) 糸状菌の生産する新 Cellulase 剤について (その1) (25, 228 (1965)).
- (7) 竹中英雄, 伊藤 元, 栢野正則, 大橋 芳: ショ糖脂肪酸エステルの製剤学的応用研究 (第3報) サルファ剤の家兎血中濃度におよぼす影響について (25, 285 (1965)).
- (8) 杉浦 衛, 田中英郎, 加藤精宏, 長瀬啓三, 道家三季: 酵素剤の研究(10) 糸状菌の生産する新 Cellulase 剤の利用について (26, 69 (1966)).
- (9) 杉浦 衛, 長瀬啓三, 加藤精宏: 酵素剤の研究(13) 糸状菌の生産する新リパーゼ剤について (26, 296 (1966)).
- (10) 杉浦 衛, 浅野 弘, 田中英郎: 酵素剤の研究(14) 糸状菌の生産する新耐酸性プロテアーゼ剤について (27, 31 (1967)).
- (11) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 平工誠治: 酵素剤の研究(15) AMP-aminohydrolase について(1) アルコール沈降における沈降助剤の検索 (27, 135 (1967)).
- (12) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 佐々木正憲: 酵素剤の研究(16) AMP-aminohydrolase について(2) タングステン酸による Phosphohydrolase の除去法 (27, 140 (1967)).
- (13) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 浅野 弘: 酵素剤の研究(17) AMP-aminohydrolase について(3) Phosphohydrolase の吸着樹脂の検索 (27, 185 (1967)).
- (14) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 仲 恭寛, 長瀬啓三: 酵素剤の研究(23) 抗胆汁性リパーゼの研究 (その4) 抗胆汁性リパーゼ (*Mucor* 属, *Pseudomonas* 属, Pancreas Lipase) の比較 (27, 314 (1967)).
- (15) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎, 奥村一忠, 高木 勇: 酵素剤の研究(26) 静水高圧下におけるアミラーゼ活性の変動 (28, 47 (1968)).
- (16) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎: 酵素剤の研究(27) 酵素純度の推定法について (28, 119 (1968)).
- (17) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎: 酵素剤の研究(28) *Rhizopus* 属産生酵素の分離精製におけるイオン交換樹脂の利用 (28, 129 (1968)).
- (18) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 長瀬啓三: 酵素剤の研究(34) リパーゼ活性におよぼす各種 PVA 乳剤の影響 (28, 240 (1968)).
- (19) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 中野忠史: 酵素剤の研究(35) 市販複合顆粒酵素剤の活性と経時変化について (28, 247 (1968)).
- (20) 竹中英雄, 伊藤 元, 渡辺純男, 小島明男, 近松義博: 酵素剤の製剤学的研究 (第1報) 微生物の産生する  $\alpha$ -Amylase について (28, 254 (1968)).
- (21) 竹中英雄, 伊藤 元, 長谷川正樹: 湿・乾式顆粒の比表面積と摩損度について (28, 258 (1968)).
- (22) 竹中英雄, 伊藤 元, 小島明男, 渡辺純男, 田口好文, 杉浦 衛: 酵素剤の製剤学的研究 (第2報) 微生物の産生する Protease について (29, 221 (1969)).
- (23) 竹中英雄, 伊藤 元, 小島明男, 服部功子: 酵素剤の製剤学的研究 (第3報) 微生物の産生する Lipase について (29, 225 (1969)).
- (24) 竹中英雄, 伊藤 元, 小島明男, 長谷川正樹, 田口好文: 酵素剤の製剤学的研究 (第4報) パンクレアチンについて (29, 228 (1969)).
- 26) 衛生化学
- (1) 松井為三郎, 小木曾太郎: タイル工場より発生するフッ素による煙害について (I) (11, 218 (1965)).



- (2) 小木曾太郎, 松井為三郎, 井上裕正: アルカリろ紙法による陶磁器生産地の大気汚染調査 (I) (**12**, 156 (1966)).
- (3) 松井為三郎, 小木曾太郎: タイル工場より発生するフッ素による煙害について (II) (**12**, 326 (1966)).
- (4) 小木曾太郎: 陶磁器生産地の大気汚染調査(II) 陶磁器原料中のフッ素とアルカリろ紙法による大気中のフッ素について (**13**, 143 (1967)).
- (5) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 成田修一, 長瀬啓三, 浅野 弘: 酵素剤の研究<sup>(20)</sup> 抗胆汁性リパーゼの研究 (その1) *Mucor* 属および *Pseudomonas* 属の産生するリパーゼにおよぼす胆汁, 胆汁酸塩の影響 (**13**, 257 (1967)).
- (6) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 仲 恭寛, 浅野 弘: 酵素剤の研究<sup>(21)</sup> 抗胆汁性リパーゼの研究 (その2) *Mucor* 属の産生するリパーゼについて (**13**, 265 (1967)).
- (7) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 仲 恭寛, 長瀬啓三: 酵素剤の研究<sup>(22)</sup> 抗胆汁性リパーゼの研究 (その3) *Pseudomonas* 属の産生するリパーゼについて (**13**, 271 (1967)).
- (8) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 奥村一忠, 羽田野良一: 酵素剤の研究<sup>(24)</sup> 糸状菌 Amylase の分別定量法に関する研究 (その1) Amylase 加水分解物の分離定量法 (**13**, 311 (1967)).
- (9) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎: 酵素剤の研究<sup>(25)</sup> 糸状菌 Amylase の分別定量法に関する研究 (その2) 加水分解曲線を利用した分離定量法 (**13**, 319 (1967)).
- (10) 小瀬洋喜, 赤木洋勝, 森下正三, 丹羽早起, 古山嘉美, 大熊一郎: プールの衛生管理に関する研究 (VIII) 次亜塩素酸カルシウム中性塩錠剤によるプール水消毒 (**13**, 330 (1967)).
- 27) ビタミン
- (1) 佐久間礼三郎, 島崎武志, 北村二郎, 高取吉太郎: ロイコマイシン耐性乳酸菌によるパントテン酸, ニコチン酸および葉酸の定量 (**37**, 498 (1968)).
- (2) 佐久間礼三郎, 島崎武志, 北村二郎: カナマイシン耐性乳酸菌によるカナマイシン共存下のビタミンの定量 (**37**, 504 (1968)).
- (3) 加藤好夫, 羽田野 昭: アスコルビン酸およびその複合体に関する研究, 第3報. アスコルビン酸モノステアレートへの光照射に対する安定性 (**40**, 149 (1969)).
- (4) 羽田野 昭, 加藤好夫: アスコルビン酸およびその複合体に関する研究, 第5報 アスコルビン酸に対する銅イオンの挙動 (**40**, 416 (1969)).
- (5) 羽田野 昭, 加藤好夫: アスコルビン酸およびその複合体に関する研究, 第6報 アスコルビン酸の分解に関する理論的解析 (**41**, 10 (1970)).
- (6) 篠原力雄, 石黒伊三雄: アスコルビン酸による Tryptophan Oxygenase の活性化と阻害について (**41**, 341 (1970)).
- 28) 岐阜女子短期大学紀要
- (1) 千田重男, 和泉 弘: 5- $\alpha$ -Dialkylamino-acylamino-2, 4, 6-trimethoxypyrimidine 誘導体の合成 (**16**, 1 (1966)).
- (2) 和泉 弘, 千田重男: 尿素誘導体の合成 (**17**, 1 (1967)).
- (3) 和泉 弘, 千田重男: マロン酸誘導体の合成 (**18**, 1 (1968)).
- (4) 和泉 弘, 千田重男: 5-Butyl-5-hydroxy-1-cyclohexyl-2, 4, 6-trioxoperhydroypyrimidine の転移閉環反応 (**19**, 27 (1969)).
- (5) 吉原壮三郎, 岡田 勇, 中村 亮, 吉川周子, 中神 勝, 小倉ひでみ, 武藤紀久, 曾我部敦子, 小谷諒夫: 岐阜県における僻地住民の栄養学的ならびに衛生学的研究 1 徳山村について (第1報) (**19**, 76 (1970)).
- 29) 民族衛生
- (1) 永田捷一, 岡田 勇, 中村 亮, 荻野洋子, 堀 ハナ, 新福祐子, 中神 勝, 高橋邦郎, 早矢仕義雄: 農村の衛生学的研究 (XIV) 滋賀県における長, 短命地区の住いと暮しかたに関する衛生学的研究 (**30**, 58 (1964)).
- (2) 永田捷一, 中村 亮, 岡田 勇, 荻野洋子, 堀 ハナ, 中神 勝, 早矢仕義雄, 高橋邦郎, 新福祐子: 農

村の衛生学的研究 (XV) 岐阜県における農村の住いと暮しかたに関する衛生学的研究 (30, 65 (1964)).

- (3) 中神 勝：いわゆる虚弱児童，生徒の実態と，その保健体育指導に関する衛生学的研究〔Ⅰ〕 児童，生徒の実態について (35, 41 (1969)).
- (4) 中神 勝：いわゆる虚弱児童，生徒の実態と，その保健体育指導に関する衛生学的研究〔Ⅱ〕 保健体育指導の方法について (35, 80 (1969)).
- (5) 中神 勝：いわゆる虚弱児童，生徒の実態と，その保健体育指導に関する衛生学的研究〔Ⅲ〕 保健体育指導の方法並びに実践成績について (35, 87 (1969)).

### 30) 日本薬理学会雑誌

- (1) 江田昭英，坂井公子，永井博式，鈴木良雄，小林 佐：サリチル酸モルフォリンの薬理作用 (63, 409 (1967)).
- (2) 江田昭英，永井博式，和田 浩：Baicalin および baicalein の薬理作用 (第1報) 能動的アナフィラキシー反応に及ぼす影響 (66, 194 (1970)).
- (3) 江田昭英，永井博式，和田 浩：Baicalin および baicalein の薬理作用 (第2報) 受動的アナフィラキシー反応に及ぼす影響 (66, 237 (1970)).
- (4) 江田昭英，勝田栄二，渡辺茂勝，水野瑞夫：生薬の抗アレルギー作用についての吟味 (66, 366 (1970)).

### 31) 下水道協会雑誌

- (1) 佐藤孝彦：溶存酸素計による活性汚泥の酸素消費測定 (3, (28) 36 (1966)).
- (2) 佐藤孝彦，高木柁弥：活性汚泥に対する塩化ナトリウムおよび海水の影響について (4, (37) 14 (1967)).
- (3) 佐藤孝彦，渡辺紀子：活性汚泥の栄養要求について (6, (57) 2 (1969)).
- (4) 佐藤孝彦：活性汚泥の酸素消費速度に対する基質濃度の影響 (6, (62) 33 (1969)).

### 32) 岐阜医科大学紀要

- (1) 不破博徳，岡田 勇，中村 亮，中神 勝，早矢仕義雄，高橋邦郎：学童の結核管理に関する衛生学的研究 (Ⅱ) 結核の感染および発病に関する調査研究 (12, 92 (1964)).
- (2) 江田昭英，沢崎 茂，小林 佐，日比野隆二，米本昭信，竹中みどり，鈴木良雄：サリチル酸モルフォリンの薬理作用 (第1報) 毒性および致死量 (12, 177 (1964)).
- (3) 江田昭英，沢崎 茂，小林 佐，日比野隆二，米本昭信，竹中みどり，鈴木良雄，(第2報) 局所刺激作用 (12, 187 (1964)).
- (4) 不破博徳，中村 亮，岡田 勇，中神 勝，早矢仕義雄，高橋邦郎：学童の結核管理に関する衛生学的研究 (Ⅲ) 居住環境に関する調査研究，結核有所見学童世帯における状況について (13, 152 (1965)).

### 33) 分析化学

- (1) 河合 聡，服部哲靖，小滝美和子：ガスクロマトグラフィーによる製剤中の解熱鎮痛剤の分析 (その1) (13, 872 (1964)).
- (2) 河合 聡，橋場茂子：ペニシリン類の加水分解により生成する有機酸のガスクロマトグラフィーによる分離 (13, 1223 (1964)).
- (3) 服部哲靖，河合 聡，西海里：ガスクロマトグラフィーによる製剤中の解熱鎮痛剤の分析 (その2) (14, 586 (1965)).
- (4) 田村善蔵，河合 聡：ガス状における簡単なベンゼン誘導体の紫外外部吸収スペクトル (15, 64 (1966)).

### 34) 用水と廃水

- (1) 小瀬洋喜，池田 坦，森下正三，吉田三郎，古山嘉美，岡田 保：上向きろ過方式簡易水道ろ過池の機能について (6, 397, 1964)).
- (2) 小瀬洋喜，西脇 澄：プールの衛生管理に関する研究 (第6報)，プールの水の循環ろ過法とその試験法 (6, 545 (1964)).
- (3) 小瀬洋喜：プールの衛生管理に関する研究 (第7報)，シーズンオフにおけるプール管理 (7, 163 (1965)).

### 35) 食品衛生学雑誌

- (1) 小瀬洋喜, 池田 坦: 汲取りし尿中の腸炎ビブリオに関する研究 (第1報) 汲取りし尿よりの腸炎ビブリオの分離 (**5**, 206 (1964)).
  - (2) 小瀬洋喜, 池田 坦, 古山嘉美, 高木 勇: 汲取りし尿中の腸炎ビブリオに関する研究 (第2報) 汲取りし尿中の腸炎ビブリオ類似菌 (**6**, 513 (1965)).
- 36) 北陸の植物
- (1) MIZUO MIZUNO: The Occurrence of *Pyrrhosia Pekinensis* CHING on Inuyama City, Owari Povince (**13**, 52 (1964)).
  - (2) 水野瑞夫, 田中俊弘, 鈴木祥之: 伊吹山のシダ植物—岐阜県及び近県の植物に関する研究 II (**16**, 41 (1968)).
- 37) アレルギー
- (1) 江田昭英, 永井博式, 平松正彦, 勝田栄二: Disodium Cromoglycate の Anaphylactic Mediator 遊離におよぼす影響 (**19**, 597 (1970)).
  - (2) 江田昭英, 永井博式, 平松正彦, 勝田栄二, 服部好伯: 花粉荷の抗原性についての検討 (**19**, 682 (1970)).
- 38) 水処理技術
- (1) 佐藤孝彦: 活性汚泥法による有機酸の分解について (**6**, (6) 19 (1965)).
  - (2) 佐藤孝彦: 活性汚泥の酸素消費の時間的経過について (**11**, (7) 7 (1970)).
- 39) 生薬学雑誌
- (1) 水野瑞夫, 難波恒雄, 嶋野 武, 高橋真太郎: Berberine 含有生薬の研究 (第1報) 日本産黄連 (**21**, 31 (1967)).
- 40) 植物趣味
- (1) 水野瑞夫, 田中俊弘: 醒ヶ井の羊歯植物 I. 一岐阜県及び近県の植物に関する研究 I. (**25**, 2 (1964)).
- 41) 水道協会雑誌
- (1) 小瀬洋喜, 森下正三, 古山嘉美, 岡田 保, 赤木洋勝: 上向ろ過方式簡易水道ろ過池の構造と機能 (**402**, 13 (1968)).
- 42) 医学と生物学
- (1) 佐久間礼三郎, 篠原力雄: ダイコクネズミ肝の Tryptophan Oxygenase 活性に及ぼすフラビンの影響 (**80**, 173 (1970)).
- 43) 栄養と食糧
- (1) 石黒伊三雄, 篠原力雄, 青山方子: 大根の o-Diphenol Oxidase 活性とL-アスコルビン酸の関連性に関する研究 (**23**, 13 (1970)).
- 44) 薬史学雑誌
- (1) 吉田甚吉: 日米両国における薬業経済史比較論 (**4**, (1) 1 (1969)).
  - (2) 小瀬洋喜: 薬史学の今日的意義 (**4**, 19 (1969)).
- 45) 放射医学総合研究所年報
- (1) 中村 弥, 小島栄一, 西本義男, 植草豊子, 中山義之, 豊吉一美, 伊藤よし子, 竹元一人: 放射線障害の医学的指標に関する研究 (**12**, 81 (1969)).
- 46) 有機合成化学協会雑誌
- (1) 牧 敬文, 高谷昌弘: 2-フェニル-4, 5, 6-トリクロロ-3(2H)-ピリダゼノン (**28**, 462 (1970)).
- 47) 学校保健研究
- (1) 小瀬洋喜: ニースホステルの環境衛生の実態 (**12**, (3) 38 (1970)).
- 48) 医学のあゆみ
- (1) 谷口 猛, 仁井谷久暢, 稲垣治郎, 滝口正子, 杉浦 衛: Lipoprotein lipase による Lysosomal Enzyme の Release (**71**, 261 (1969)).
- 49) 現代の臨床

- (1) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 中野忠史: 酵素剤の研究 (36), 市販複合顆粒酵素剤の崩壊と耐酸性について (2, 746 (1968)).
- 50) 日本衛生学雑誌
- (1) 佐藤孝彦: 活性汚泥に対する各種金属イオンの毒性と EDTA による毒性の軽減について (21, 299 (1966)).
- 51) 日本水処理生物学会誌
- (1) 小瀬洋喜, 友清祚仔子, 井上 浩: プールの衛生管理に関する研究 (第9報) プール水中の生物相 (6, 7 (1970)).
- 52) 医化学シンポジウム
- (1) 田村善藏, 河合 聡: 尿中カテコールアミンのガスクロマトグラフィー (7, 34 (1967)).
- 53) 岐阜薬科大学紀要
- (1) 加藤好夫, 牧田浩和: 微生物によるリボフラビンの分解機構について (14, 38 (1964)).
- (2) 石黒伊三雄, 内藤純子, 野口露子: 花粉に関する栄養学的研究 (第2報) 花粉のラッテ性別および内分泌腺に及ぼす影響について (14, 47 (1964)).
- (3) 杉浦 衛, 田中英郎, 加藤精宏, 道家三季: 体内酵素に及ぼす抗結核剤の影響(5) (14, 51 (1964)).
- (4) 杉浦 衛, 田中英郎, 棚橋淳行, 小木曾太郎, 加藤好夫: 酵素剤の薬剤学的研究 (第8報) 消化酵素製剤中の酵素活性について (14, 56 (1964)).
- (5) 菅野正彦: *Confessio Amantis* の表現 (14, 64 (1964)).
- (6) 牧 敬文, 山根一之, 馬杉 峻: 転位反応の研究 (第13報) ピリジン誘導体におけるスマイル転位(9) (15, 31 (1965)).
- (7) 杉浦 衛, 田中英郎, 古武よし子: 抗結核剤の薬剤学的研究 (第8報) *Tryptophanase* による *Pyridoxal phosphate* 定量法の検討 (15, 33 (1965)).
- (8) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 浅野 弘: 酵素剤の研究 (第11報) 糸状菌の生産するリパーゼについて (15, 38 (1965)).
- (9) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 奥村一忠: 酵素剤の研究 (第12報) 耐酸性プロテアーゼの培養条件 (15, 43 (1965)).
- (10) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 棚橋淳行: 酵素剤の研究 (第19報) 消化酵素製剤中における酵素活性の経時変化について (15, 45 (1965)).
- (11) 菅野正彦: *Confessio Amantis* の不定詞の統語法 I (15, 51 (1965)).
- (12) 菅野正彦: *Havelok the Dane* の言語と表現 (15, 73 (1965)).
- (13) 中神 勝, 永田捷一, 林 領一: 大学生の体位向上に関する保健体育学的ならびに衛生学的研究(1) 岐阜薬科大学学生に関する成績 (その1) 年度別平均値からみた身長, 体重, 胸囲の推移について (昭和25年度~36年度) (15, 93 (1965)).
- (14) 菅野正彦: *Confessio Amantis*—Prologue (16, 1 (1966)).
- (15) 菅野正彦: *Confessio Amantis* の不定詞の統語法 II (16, 5 (1966)).
- (16) 菅野正彦: *The Expanded Tenses in S. Maugham* (16, 15 (1966)).
- (17) 河辺 実: *Die Präposition—Die Herkunft und Verwendung* (16, 35 (1966)).
- (18) 牧 敬文, 鈴木巳喜男, 馬杉 峻, 高谷昌弘: ピリダジノン誘導体の NMR スペクトル (16, 41 (1966)).
- (19) 鍛冶健司, 長島 弘, 真下喜世彦, 仲 恭寛, 重実桂助: Grignard 反応による合成研究 VII. O-アルキルマンデル酸アミド類に対するアルキル Grignard 試薬の反応による混合アシロインアルキルエーテル類の合成 (16, 45 (1966)).
- (20) 堀 幹夫, 藤村 一, 山川 豊, 原 千秋, 北井国雄: ベンズアザチクロアルカン誘導体の合成研究 第2報 (16, 61 (1966)).
- (21) 堀 幹夫, 藤村 一, 山川 豊, 森川訓行, 陣内美和子: ベンズアザチクロアルカン誘導体の合成研究

- 第3報 (16, 65 (1966)).
- (22) 堀 幹夫, 藤村 一, 山川 豊, 大野正義, 天野 彪: ベンズアザチクロアルカン誘導体の合成研究 第4報 (16, 68 (1966)).
- (23) 大野武男, 森 逸男: 有機水銀化合物の水銀定量について (16, 71 (1966)).
- (24) 渡辺周一, 谷 志郎, 小瀬洋喜: 尿尿処理法に関する研究 (第1報) 岐阜県における尿尿消化槽の実態 (16, 77 (1966)).
- (25) 杉浦 衛, 市原嘉夫, 酒井利侑: 酵素剤の研究 (8) 軟膏剤中の各種起源酵素の活性変化について (16, 111 (1966)).
- (26) 竹中英雄, 伊藤 元, 林 利樹, 大竹敏雄: 可溶化薬剤に関する研究 第2報 (16, 118 (1966)).
- (27) Masahiko Kanno: Verbs in John Gower's *Confessio Amantis* I (17, 53 (1967)).
- (28) KENJI KAJI, HIROMU NAGASHIMA, HIROSHI MORI, IEHISA YOSHIDA, TAKEKO ICHII, RAYMON N. CASTLE: Synthesis of Sulfur-Containing Pyridazines I. Benylthiolation with Subsequent Selective Debenzylation on 4,5-Dihalo-3-Pyridarones (17, 66 (1967)).
- (29) 大野武男, 森 逸男: クロルフルオレセインの水銀化反応について (17, 82 (1967)).
- (30) 大野武男, 岸田弘子, 清水則子: 毛髪中の水銀の定量法ならびに水銀量について (17, 88 (1967)).
- (31) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 平工誠治: 酵素剤の研究 (30) 韓国消化酵素製剤中の酵素活性について (17, 94 (1967)).
- (32) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 小木曾太郎, 田中英郎, 佐々木正憲: 酵素剤の研究 (31), 市販酵素剤の酵素蛋白純度 (17, 103 (1967)).
- (33) 杉浦 衛, 伊藤万蔵, 田中英郎, 平工誠治: 酵素剤の研究 (32) 微生物の産生する Lipoprotein lipase の研究 (その2) Lipoprotein lipase の活性測定法について (17, 111 (1967)).
- (34) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 羽田野良一, 田中順子: 酵素剤の研究 (33) Xylanase の研究 (1). *Aspergillus niger* の生産する Xylanase および Glucanase について (17, 117 (1967)).
- (35) 加藤好夫, 杉浦 衛, 堀場孝彦, 猪口孝子, 加藤敏子: 制酸剤の制酸力とそのアミラーゼ活性におよぼす影響について (17, 124 (1967)).
- (36) 小瀬洋喜: 糞便中の腸炎ビブリオに関する研究 (第3報) 鳥類糞便中よりの腸炎ビブリオの分離 (17, 132 (1967)).
- (37) 小瀬洋喜, 高木 勇: 糞便中の腸炎ビブリオに関する研究 (第4報) 高静水圧に対する腸炎ビブリオ類似菌の耐圧性ならびに電子顕微鏡像 (17, 136 (1967)).
- (38) 竹中英雄, 伊藤 元, 浅野 弘, 服部英彦: フィルム形成剤の2, 3の物理的性質について (17, 142 (1967)).
- (39) Masahiko Kanno: Prepositions in Gower's *Confessio Amantis* (3) (18, 13 (1968)).
- (40) 杉浦 衛, 田中英郎, 浅野 弘: 酵素剤の研究 (29), 微生物の産生する Lipoprotein Lipase の研究 (その1), 微生物ならびに動物臓器の Lipoprotein Lipase の酵素性質 (その1) (18, 47 (1968)).
- (41) 杉浦 衛, 小木曾太郎, 酒井利侑, 渡部千尋: 酵素剤の研究 (47) 消炎酵素剤の製剤学的研究 (18, 54 (1968)).
- (42) 石黒伊三雄, 篠原力雄: 生体内における FAD, FMN の酵素水解について (18, 66 (1968)).
- (43) 大野武男, 小瀬洋喜: 温泉の泉質に関する調査研究 (第1報) 阿曾温泉についての調査研究 (18, 74 (1968)).
- (44) 小瀬洋喜, 池田 坦, 田中陽子, 臼井 正: 大気汚染にもとづく公害に関する研究 (第2報) 多治見市の大気汚染 (19, 1 (1969)).
- (45) 小瀬洋喜, 友清祚仔子, 船坂鏡三: 温泉の泉質に関する調査研究 (第2報) 長島17号泉のスケールについての調査研究 (19, 7 (1969)).
- (46) 石黒伊三雄, 池野武行, 稲川悠子: 市販蜂蜜の品質に関する研究 (19, 13 (1969)).

- (47) 杉浦 衛, 加納邦雄, 清水 浩: 酵素剤の研究 (55), 酵母ウリカーゼに関する研究 (1), 酵母ウリカーゼの部分精製について (19, 22 (1969)).
- (48) 杉浦 衛, 伊藤万蔵: 酵素剤の研究 (43) *Aspergillus melleus* によるプロティナーゼの産生条件 (19, 29 (1969)).
- (49) 杉浦 衛, 伊藤万蔵: 酵素剤の研究 (44) *Aspergillus melleus* の産生するプロティナーゼのエタノール分画 (19, 37 (1969)).
- (50) 杉浦 衛, 伊藤万蔵: 酵素剤の研究 (45) *Aspergillus melleus* の産生するプロティナーゼのイオン交換樹脂による脱色 (19, 41 (1969)).

### III 実験ノート

#### 1) 衛生化学

- (1) 菅野三郎, 小瀬洋喜, 綿谷佳子他: クロラニル酸バリウム法についての若干の改良 (13, 217 (1967)).

#### 2) 岐阜薬科大学紀要

- (1) 磯間千加子: 3, 6-Dihydroxy-2, 4-dimethoxyacetophenone の合成法の改良 (17, 147 (1968)).

### IV 資料

#### 1) 衛生化学

- (1) 森下正三, 春日井安太郎, 小瀬洋喜: 学校環境衛生の基礎的研究 (第20報) 学校用計量器の正確度 (10, 193 (1964)).
- (2) 館 正知, 古山嘉美, 小瀬洋喜, 池田 坦, 赤木洋勝, 中室克彦, 森下正三, 綿谷佳子他: 大気汚染にもとづく公害に関する研究 (第1報) 大垣市の大気汚染 その1 (15, 26 (1969)).
- (3) 小瀬洋喜, 池田 坦 (市販氷の汚染成分について (15, 101 (1969)).
- (4) 小瀬洋喜, 赤木洋勝, 白木有之, 鶴飼春夫: 亜鉛鍍鉄管より水道水への亜鉛溶出 (15, 323 (1969)).

#### 2) 岐阜薬科大学紀要

- (1) 嶋野 武, 水野瑞夫, 田中俊弘: 岐阜薬科大学腊葉目録 (5) (植物分布地理研究) 福井県足羽郡美山町植物目録 (15, 110 (1965)).
- (2) 大野武男, 森 逸男: 水銀の分析法に関する最近の文献 (16, 122 (1966)).
- (3) 水野瑞夫, 田中俊弘, 嶋野 武, 松浦 信: 岐阜薬科大学腊葉目録 (6) (16, 144 (1966)).
- (4) 水野瑞夫, 田中俊弘, 鈴木祥之: 羊歯植物目録 (17, 150 (1967)).
- (5) 水野瑞夫, 田中俊弘, 鈴木祥之: 岐阜薬科大学腊葉目録 (8) 三重県安芸郡芸濃町植物目録 (18, 80 (1968)).
- (6) 水野瑞夫, 加藤多喜子: 岐阜薬科大学標本目録\*(9) 台湾 (1) (19, 53 (1969)).

### V 著 書

- (1) 豊吉一美 (分担執筆): 放射化学演習 (広川書店) (1963)
- (2) 嶋野 武, 稲垣勲編 (分担執筆) 生薬学実験指針 (南江堂) (1964)
- (3) 河合 聡: (分担執筆), ガスクロマトグラフィー (化学の領域増刊 65号, 南江堂) (1964)
- (4) 宇野豊三, 花井一彦 (共著, 分担執筆): (東, 中垣編) 医学薬学実験装置ハンドブック “赤外線吸収スペクトル” (朝倉書店) (1965)
- (5) 河合 聡 (分担執筆): 最新ガスクロマトグラフィー (広川書店) (1965)
- (6) 嶋野 武 (共著): 生薬学 (南江堂) (1966)
- (7) 嶋野 武 (分担執筆): 岐阜県の植物 (岐阜県教育委員会) (1966)
- (8) 嶋野 武 (分担執筆): 生薬学 (南江堂) (1966)
- (9) 堀 幹夫 (分担執筆): 最新有機薬品化学 (広川書店) (1967)
- (10) 奥田高千代 (分担執筆): 薬品物理化学 (広川書店) (1967)
- (11) 江田昭英 (分担執筆): 薬理学実習指針 (広川書店) (1967)
- (12) 江田昭英 (分担執筆): 最新薬物学 (広川書店) (1967)

- (13) 石黒伊三雄 (共著) : 生化学実験書 (広川書店) (1967)
- (14) 石黒伊三雄 (共著) : 基礎生物学 (広川書店) (1968)
- (15) 石黒伊三雄 (分担執筆) : 栄養化学 (広川書店) (1968)
- (16) 石黒伊三雄 (共著) : 生活の科学 (広川書店) (1968)
- (17) 河辺 実, 千田重男 (共訳, 注) : フロイデンベルクブリーニンゲル, 有機化学 (広川書店) (1968)
- (18) 河合 聡 (分担執筆) : 最新機器分析 (広川書店) (1968)
- (19) 小瀬洋喜 (監修, 共著) : 新講学校環境衛生 (東山書房) (1968)
- (20) 石黒伊三雄 (分担執筆) : 栄養生理学 (広川書店) (1969)
- (21) 石黒伊三雄 (分担執筆) : 臨床化学入門 (広川書店) (1969)
- (22) 江田昭英 (分担執筆) : 最新薬理学 (広川書店) (1969)
- (23) 石黒伊三雄 (分担執筆) : 新特殊栄養学 (広川書店) (1969)
- (24) 石黒伊三雄 (分担執筆) : 生化学 (広川書店) (1969)
- (25) 大野武男 (共著) : 解説薬品定量分析 (南江堂) (1969)
- (26) 小瀬洋喜 (共著) : 公衆衛生学 (改稿版) (広川書店) (1970)
- (27) 水野瑞夫 (分担執筆) : 薬草オウレンの研究 (風間書房) (1970)

#### Research Records

(Nov. 1964 Aug. 1970)

#### I. Articles Published in Scientific Journals

##### 1) In "Farumashia"

- (1) MIKIO HORI : Thiabenzene — Studies on Organic Compound containing Decet Sulfur Bonding (4, 240 (1968)).
- (2) MIKIO HORI: The Chemistry of Thiabenzene to Selenabenzene (6, 229 (1970)).

##### 2) In "Yakukyoku" (The Journal of Practical Pharmacy)

- (1) YOSHIO KATO: On the Antibacterial Activity of Royal Jelly. (15, 641 (1964)).
- (2) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (1). On Cellulase of Microorganisms (17, 163 (1966)).
- (3) KEI ARIMA, MAMORU SUGIURA, YASUHIRO NAKA: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (2) On Amylase of Microorganisms (No. 2) (17, 449 (1966)).
- (4) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, TARO OGISO: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (3). On Amylase of Microorganisms (No.1) (17, 897 (1966)).
- (5) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, MANZO ITO: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (4). On Amylase of Microorganisms. (No.2) (17, 1021 (1966)).
- (6) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, KEIZO NAGASE: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (5). On Lipase of Microorganisms (No.1) (17, 1425 (1966)).
- (7) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, KEIZO NAGASE: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (6). On Lipase of Microorganisms (No.2) (17, 1569 (1966)).
- (8) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, SEIKO KATO: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (7). On proteinase of Microorganisms (No.1) (18, 487 (1967)).
- (9) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, SEIKO KATO: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (8). On Proteinase of Microorganisms (No.2) (18, 631 (1967)).
- (10) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, SEIKO KATO: Developments and Studies on Enzymes of Microorganisms (9). On Proteinase of Microorganisms (No.3) (18, 905 (1967)).
- (11) AKIHIDE KODA, YOSHINORI HATTORI: Allergic disease induced by Drugs : (20, 55 (1969)).

- (2) MAMORU SUGIURA: Developments and Preparation. on Anti-inflammatory Enzymes. (21, 697 (1970)).
- 3) In "Yakukyoku no Ryoiki" (The Journal)
- (1) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: On Assay Methods of Amylase (1). (14, 18 (1965)).
  - (2) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: An Introduction of Amylase. (14, 25 (1965)).
  - (3) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: On Amylase as a Digestive Enzyme (15, 18 (1966)).
  - (4) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: On Amylase as a Clinical Enzyme (15, 25 (1966)).
  - (5) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: On Assay Methods of Amylase (2). (15, 36 (1966)).
  - (6) AKIHIDE KODA: Bronchial Asthma and Allergy (17, 75 (1968)).
- 4) In "Kagaku" (Chemistry)
- (1) KAZUO ITO, YOSHIFUMI MAKI: The Stereochemistry in the nucleophilic addition reaction to cyclic ketones (21, 54 (1966)).
  - (2) KAZUO ITO, YOSHIFUMI MAKI: The stereochemistry in the nucleophilic addition reaction to Cyclic Ketones (21, 78 (1966)).
- 5) In "Japan Analyst"
- (1) KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI: Infrared Absorption and Raman Spectra 15, 16R(1966).
- 6) In "Journal of Synthetic Organic Chemistry, Japan"
- (1) YOSHIFUMI MAKI, KOSAKU KISHIDA: The Formation of C-C Bond at the Angular position of Condensed Ring System (23, 476 (1965)).
- 7) In "Japanese Journal of Allergology"
- (1) AKIHIDE KODA, HIROSHI WADA: SRS and the related substances (17, 767 (1968)).
- 8) In "Kinzoku" (Metals)
- (1) YOUKI OSE: Prosecution for the Poisoning of Metals (39, (22), 33(1969)).
- 9) In "School Hygiene"
- (1) YOUKI OSE: Studies on the Prevention of Pool-Disease (2, (3), 32 (1968)).
- 10) In "Clinician"
- (1) AKIHIDE KODA: Study on SRS (17, 23(1970)).
- 11) In "Water Purification and Liquid Wastes Treatment"
- (1) YOUKI OSE: Sanitary Care for Water Used in School (6, (2), 13(1965)).
- 12) In "School Health Education"
- (1) YOUKI OSE: Sanitary Care for Water Used in School (16, (2), 14 (1965)).
  - (2) YOUKI OSE: The New Problems in the Field of Environmental Hygiene of School (20, (1), 13; (2), 13 (1969)).
- 13) In "Kagaku to Yakugaku no Kyoshitu"
- (1) TAKIO IWAMOTO, TAKAO MURAKAMI, SHIGEO SENDA, IKUO SUZUKI: Drugs (20, 2 (1968)).
  - (2) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO: Enzyme Preparations — On the changes in Course of Time and Stabilization of the Preparations (28, 14 (1970)).
- 14) In "Syoyakugaku Zasshi" (The Japanese Journal of Pharmacognocny)
- (1) MIZUO MIZUNO: On the Distribution of Coptis sp. (23, 39 (1969)).
- 15) In "The Annual Proceedings of Gifu College of Pharmacy"
- (1) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI: Steroidal Antibiotics. (15, 1 (1965)).
  - (2) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: On Nucleodeaminase (15, 9 (1965)).



- (3) JINKICHI YOSHIDA: On Private Brands (15, 23 (1965)).
- (4) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA: On Plasmen as a Clinical Enzyme. (16, 90 (1966)).
- (5) MIKIO HORI, MASATOSHI BAN: Sigmatropic Reaction (17, 1 (1967)).
- (6) SHUICHI WATANABE, SHIROU TANI, JUNJI AMANO, YOUKI OSE: Studies on the Spa in Gifu Prefecture (1) Administration about Spa in Gifu prefecture. (17, 20 (1967)).
- (7) SHUICHI WATANABE, SHIROU TANI, JUNJI AMANO, YOUKI OSE: Studies on the Spa in Gifu Prefecture (2) Gero-Spa. (17, 29 (1967)).
- (8) Vladimir Prelog' Das asymmetrische Atom, "Chiralität und Pseudoasymmetrie"  
Translated by MIKIO HORI and TOKIKO NAGAI (18, 1 (1968)).

## II. Reports Published in Scientific Journals

### 1) In "Yakugaku Zasshi" (Journal of the Pharmaceutical Society of Japan)

- (1) TAKEO OHNO, ITSUO MORI: Synthesis of Bromofluoresceins (84, 1134 (1964)).
- (2) KAZUMI TOYOSHI, KATSUHIKO KATO, KATSUYO YAMADA, KAZUE KOMODA, UZUHIKO KURIMOTO: Studies on Organic Mercurials IV Antibacterial and Antifungal Properties of Organic Mercurials containing Theophylline Derivatives (84, 1149 (1964)).
- (3) KAZUYOSHI FUGITANI, YOSHIAKI AOYAGI, YUKIO MASAKI: Synthesis of 2-Hydroxy-5,4'-bis (2-methyl-6,7-dimethoxy-1,2,3,4-tetrahydro isoquinolin-1-ylmethyl) diphenyl Ether (84, 1234 (1964)).
- (4) TAKEO OHNO, ITSUO MORI: Synthesis of Bromo-chlorofluoresceins (85, 101 (1965)).
- (5) SHOJIRO UYEO, KANICHI UEDA, YOSHITOMO YAMAMOTO, YOSHIFUMI MAKI: Taxinine. XIII. The Structure of Taxinine and Taxinol (3) (85, 404 (1965)).
- (6) YOSHIFUMI MAKI, MAKOTO SATO, KAZUYUKI YAMANE: Smiles Rearrangement on Pyridine Derivatives (7) (85, 429 (1965)).
- (7) KICHITARO TAKATORI, JIRO KITAMURA, KAZUO IMAI: Studies on the Synthesis of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine and Its Biological Activities. I. Synthesis of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine Ethyl Ester. (85, 1068 (1965)).
- (8) KICHITARO TAKATORI, JIRO KITAMURA, KAZUO IMAI: Studies on the Synthesis of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine and Its Biological Activities. II. Effects of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine on the Growth of Lactic Acid Bacteria. (85, 1070 (1965)).
- (9) KICHITARO TAKATORI, JIRO KITAMURA, KAZUO IMAI: Studies on the Synthesis of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine and Its Biological Activities. III. Effects of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine on the Growth of *Escherichia coli* Mutants. (85, 1074 (1965)).
- (10) KICHITARO TAKATORI, JIRO KITAMURA, KAZUO IMAI: Studies on the Synthesis of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine and Its Biological Activities. IV. Effects of N-Mevalonoyl- $\beta$ -alanine on the Growth of *Lactobacillus heterohiochii*. (85, 1078 (1965)).
- (11) YOSHIFUMI MAKI, KAZUYUKI YAMANE, MAKOTO SATO: Smiles Rearrangement on Pyridine Derivatives (8) (86, 50 (1966)).
- (12) KAZUO HIROSE, SHIGEO UKAI: Studies on the Reaction of Phenol Derivatives with Sulfoxides. I (86, 187 (1966)).
- (13) YOSHIFUMI MAKI, MASAHIRO TAKAYA, MIKIO SUZUKI: Studies on Rearrangement Reactions. XIII. Ring Contraction Reaction from Pyridazone Derivatives to Pyrazolone Derivatives (86, 487 (1966)).

- 
- (14) KAZUYOSHI FUJITANI, YOSHIKI AOYAGI, YUKIO MASAKI: Studies on the Alkaloids of Menispermaceous Plants. CC XXIV Syntheses of Dauricine Type Bases (1). Synthesis of 2-Hydroxy-5,4'-bis (2-methyl-6,7-dimethoxy-1,2,3,4-tetra-hydroisoquinolin-1-ylmethyl) diphenyl Ether (86, 654 (1966)).
- (15) KAZUYOSHI FUJITANI, YUKIO MASAKI: Studies on the Alkaloids of Menispermaceous Plants CCXXV. Synthesis of Dauricine Type Bases. (2). Synthesis of 2,7-Bis-(2-methyl-6,7-dimethoxy-1,2,3,4-tetrahydroisoquinolin-1-ylmethyl) dibenzo-p-dioxin and. Its Reductive Cleavage by Metallic Sodium in Liquid Ammonia. (86, 660 (1966)).
- (16) TORIZO TAKAHASHI, MINORU FURUKAWA, YOSHIFUMI MAKI: Synthesis of 1-Phenyl-3-hydroxypyrazole-5-carboxylic acid Derivatives (86, 867 (1966)).
- (17) TORIZO TAKAHASHI, HIROKO KIZU, MASAHIRO TAKAYA, YOSHIFUMI MAKI: Synthesis of 2-Indanyl Urea Derivatives. (86, 958 (1966)).
- (18) TORIZO TAKAHASHI, YOSHIFUMI MAKI, HIROKO KIZU, MASAHIRO TAKAYA, TOSAKU MIKI: Studies on Pyridazone Derivatives I Synthesis of 2-phenyl-6-hydroxy-4-dimethylamino-3(2H)-pyridazinone Derivatives. (86, 1082 (1966)).
- (19) TORIZO TAKAHASHI, YOSHIFUMI MAKI, HIROKO KIZU, MASAHIRO TAKAYA, TOSAKU MIKI: Studies on Pyridazone Derivatives II. Synthesis of 2-Methyl (or cyclohexyl)-3(2H)-Pyridazinone Derivatives. (86, 1168 (1966)).
- (20) SATOSHI KAWAI: Discussion on Decomposition of Chloroform. (86, 1125 (1966)).
- (21) KICHIHARU TAKATORI, SHIRO HISADA, SHINGO ASANO, TOSHIO NAKASHIMA, HIROTOMI OKUMURA : Syntheses of Organic Fluorine Compounds. IV. Syntheses and Pharmacological Study of Fluorine-substituted Benzhydryl Aminopropyl Ethers. (87, 1109 (1967)).
- (22) YOSHIKI KAWASHIMA, JUTARO OKADA: Studies on the Extraction of Plant Constituents I. Extraction of Caffeine from Tea-Leaf. (88, 729 (1968)).
- (23) TORIZO TAKAHASHI, YOSHIFUMI MAKI, MASAHIRO TAKAYA, HIROKO KIZU: Studies on Pyridazone Derivatives III Synthesis of 2-Phenyl-3(2H) pyridazinone Derivatives. (88, 784 (1968)).
- (24) JUTARO OKADA, YOSHIKI KAWASHIMA: Measurement of Diffusion Coefficient of Caffeine in Water. (88, 1251 (1968)).
- (25) JUTARO OKADA, YOSHIKI KAWASHIMA: Studies on the Extraction of Plant Constituents II. Extraction of Tropine Alkaloid from Scopoliae Rhizoma. (88, 1344 (1968)).
- (26) MANZO ITO, MAMORU SUGIURA: Studies on *Aspergillus* Proteinase I. Purification, Crystallization and Some Properties of Alkaline Proteinase from *Aspergillus melleus*. (Studies on Enzymes. XXXV II) (88, 1576 (1968)).
- (27) MANZO ITO, MAMORU SUGIURA: Studies on *Aspergillus* Proteinase II. Purification, Crystallization and Some Properties of Semi-Alkaline Proteinase from *Aspergillus melleus* (Studies on Enzymes. XXXV III) (88, 1583 (1968)).
- (28) MANZO ITO, MAMORU SUGIURA: Studies on *Aspergillus* Proteinase III. Physicochemical Properties and Amino Acid Compositions of *Aspergillus melleus* Proteinases (Studies on Enzymes. XXXIX) (88, 1591 (1968)).
- (29) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI, TAKEO TANIMOTO, HAJIME FUJIMURA: Uracil Derivatives and Related Compounds. VII. Synthesis and Anti-inflammatory Activity of Bucolome's Related Compounds (2). (89, 254, (1969)).

- (30) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI, HAJIME FUJIMURA: Uracil Derivatives and Related Compounds VIII. Synthesis and Anti-inflammatory Activity of Bucolome's Related Compounds (3) (**89**, 260 (1969)).
- (31) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI: Uracil Derivatives and Related Compounds IX. Synthesis of Bucolome's Related Compounds (4) (**89**, 266 (1969)).
- (32) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI, KOSAKU HIROTA: Uracil Derivatives and Related Compounds X. Synthesis of Bucolome's Related Compounds (5) (**89**, 272 (1969)).
- (33) JUTARO OKADA, YOSHIKI KAWASHIMA: Studies on the Extractin of Plant Constituents III, Extraction of Berberine from Phellodendri Cortex (**89**, 558, (1969)).
- (34) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO: Studies on Bile-sensitive Lipase VI. Effect of Surfactants on *Mucor* Lipase (Studies on Enzymes. XLV III) (**89**, 1289 (1969)).
- (35) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: Studies on *Aspergillus* Proteinase. IV. Hydrolysis of Protein by Semi-Alkaline Proteinase from *Aspergillus melleus* (Studies on Enzymes. XL II) (**89**, 1325 (1969)).
- (36) JUTARO OKADA. YOSHIKI KAWASHIMA: Studies on the Extraction of Plant Constituents. IV. Extraction of Strychnine and Brucine from Strychni Semen (**89**, 1345 (1969)).
- (37) YOSHIKI KAWASHIMA: Studies on the Extraction of Plant Constituents V, Extraction of Berberine from *Berberis thunbergii* (**89**, 1386 (1969)).
- (38) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, FANG-SHANG CHEN, TADAHIKO IWATA: Studies on Separative Determination of Enzymes. III. On the Separative Determination of  $\alpha$ -Chymotrypsin and Bromelain (Studies on Enzyme Preparations. XLIX) (**89**, 1440 (1969)).
- (39) KAZUMI TOYOSHI, WATARU NAKAMURA, HIDEO ETO: Effect of 5-Hydroxytryptophan on Radiosensitivity of Cell in Vitro (**89**, 1469 (1969)).
- (40) TORIZO TAKAHASHI, MASAHIRO TAKAYA, YOSHIFUMI MAKI: Studies on Pyridazone Derivatives IV. Synthesis and Antibacterial, Antifungal Activity of Sulfur-containing Pyridazone Derivatives (**89**, 1516 (1969)).
- (41) TORIZO TAKAHASHI, MASAHIRO TAKAYA, YOSHIFUMI MAKI: Studies on Pyridazone Derivatives V Synthesis and Antibacterial, Antifungal Activity of 2-(Nitrophenyl) Pyridazinone Derivatives (**89**, 1617 (1969)).
- (42) MAMORU SUGIURA, KUNIO KANO, KAZUAKI KIMURA, SEIZI HIRAKU, HIROYUKI ONO, HIROSHI TERASHIMA, KUNIHARU SHIBATA, YOSHITICA NAKANO: Studies on New Anti-Inflammatory Substance from Bacteria (**89**, 1741 (1969)).
- 2) In "Chemical & Pharmaceutical Bulletin"
- (1) YOSHIFUMI MAKI, MAKOTO SATO, KAZUYUKI OBATA: Studies of Steroidal  $\alpha$ -amino acids I. Synthesis of Two Epimeric-3-Amino-5- $\alpha$ -cholestane-3-carboxylic acid and their Configuration (**13**, 1777 (1965)).
- (2) SHOJIRO UYEO, YOSHIFUMI MAKI, YOSHITOMO YAMAMOTO: Taxinine XIV The Structure of Isopropylidenedihydrotaxinolactone: An Autooxidation Product of Dihydrotaxinol (**14**, 502 (1966)).
- (3) SATOSHI KAWAI, TOSHIHARU NAGATSU, TOSHIO IMANARI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines and Related Compounds (**14**, 618 (1966)).
- (4) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI, TOMIYASU YAMADA: Reactions of Ethyl 3-Methyl 4H-benzo-1,4-thiazine-2-carboxylate with Hydrazine Derivatives (**14**, 770 (1966)).
- (5) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines using Dime-

- thyl Sulfoxide as an Effective Solvent for Trimethylsilylation (**15**, 1493 (1967)).
- (6) MASAO TOMITA, KAZUYOSHI FUJITANI, YUKIO MASAKI, YASUKO OKAMOTO: Studies on the Alkaloids of Memspermaceous Plants CCXLIII. Syntheses of Dauricine Type Bases. (3). Synthesis of dl-Cuspidaline and dl-4'-O-Methylberbamunine (**16**, 70 (1968)).
  - (7) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Reaction of Phenol Derivatives with Sulfoxides. II. A New Method of Synthesis of Monothio Derivatives of *p*-benzoquinone (**16**, 195 (1968)).
  - (8) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Reaction of Phenol Derivatives with Sulfoxides. III. Synthesis and Characterization of 2-Alkylthio and 2-Arylthio-5-hydroxy-*p*-benzoquinones (**16**, 202 (1968)).
  - (9) MASAO TOMITA, KAZUYOSHI FUJITANI, YUKIO MASAKI, KUO-HSIUNG LEE: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. I. Oxidative Coupling of Corypalline and Its Metho-Salt. (**16**, 251 (1968)).
  - (10) MASAO TOMITA, YUKIO MASAKI, KAZUYOSHI FUJITANI: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. II. Oxidative Coupling of dl-N-Methylisosalsoline (**16**, 257 (1968)).
  - (11) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI, TAKASHI MASUGI: Steric Effect on the Smiles Rearrangement (**16**, 559 (1968)).
  - (12) SHIGEO UKAI, KAZUO HIROSE: Die Reaktion der Phenolderivate mit Sulfoxiden. IV. (einschließlich der von Sulfiden und Wasserstoffperoxid ausgehend Reaktion). Die Synthese von-4-Thiosubstituierten-1,2-Naphthoquinonderivaten (**16**, 606 (1968)).
  - (13) MASAO TOMITA, YUKIO MASAKI, KAZUYOSHI FUJITANI, YOSHIRO SAKATANI: Phenol Oxidation of Isoquinoline Alkaloids. III. Oxidative Coupling of dl-4'-O-Methy-N-methylcoclaurine (**16**, 688 (1968)).
  - (14) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of Catecholamines as Their Trifluoroacetates (**16**, 699 (1968)).
  - (15) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Gas Chromatography of the Catecholamine as Their Trifluoroacetates in Urine and Tumor (**16**, 1091 (1968)).
  - (16) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Studies on Bile-sensitive Lipase. V. Purification and Properties of Lipase from *Mucor Jaranicus* (**17**, 1025 (1969)).
  - (17) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Studies on Bile-sensitive Lipase VI. Effect of Bile Salts on *Mucor* Lipase (Studies on Enzymes XL1) (**17**, 1034(1969)).
  - (18) YOSHFUMI MAKI, KAZUYUKI YAMANE: The Stereochemistry of Isopropylidenetaxinolactone. (**17**, 2071 (1969)).
  - (19) KENJI KAJI, MASAYUKI KUZUYA, RAYMOND N. CASTLE: Synthesis of Pyridazine Derivatives with Sulfur-Containing Substituent II. A Novel Cyclization Furnishing the Concurrent Formation of 2,7-Dibenzyl-dipyridazo[4,5-b:4'5'-e]-1,4-dithiin-1,6(2H,7H)-dione and 2,8-Dibenzyl-dipyridazo[4,5-b:4',5'-e]-1,4-dithiin-1,9(2H,8H)-dione (**18**, 147 (1970)).
  - (20) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO: Studies on Bile-sensitive Lipase. VIII. Product Inhibition of *Mucor* Lipase and Role of Bile Salts and Ca<sup>2+</sup> to the Inhibition (**18**, 663 (1970)).
  - (21) KENJI KAJI, MASAYUKI KUZUYA: Synthesis of Pyridazine Derivatives with Sulfur-Containing Substituent III. Two Types of Cyclization in the Concurrent Formation of 1,6- and 1,9-Disubstituted-dipyridazo[4,5-b:4',5'-e]-1,4-dithiin Derivatives (**18**, 970 (1970)).
  - (22) TOKISHI HAYASHI, KUNIMITSU HARA, SATOSHI KAWAI, TAKEO OHNO: Fluorometric Study on the Metal Chetates of Flavone Derivatives. I. Correlation between Fluorescence Intensity and Structure of Beryllium Chelates (**18**, 1112 (1970)).

- 3) In "Acta Medica Universitatis Kagoshimaensis"
  - (1) KEIDA KITAHARA, TAKASHI AKIYAMA, TAKAHIKO SATO, NORIKO WATANABE: The Radioactivity in Rain Water, Settled Dust and Activated Sludge Observed at Kagoshima District (XII) **7**, 131 (1965)).
  - (2) KEIDA KITAHARA, TAKASHI AKIYAMA, TAKAHIKO SATO, NORIKO WATANABE: The Radioactivity in Rain Water, Settled Dust and Activated Sludge Observed at Kagoshima District (**10**, 1 (1968)).
- 4) In "Arzneimittel Forschung"
  - (1) SHIGEO, SENDA, HIROSHI IZUMI, HAJIME FUJIMURA: Über Uracil-Derivate und verwendte Verbindungen, 6 Mitteilung: 5-Alkyl-2, 4, 6-trioxo-perhydropyrimidin-Derivate als Antiphlogistica (**17**, 1519 (1967)).
- 5) In "Bulletin of the Chemical Society of Japan"
  - (1) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI, YUTAKA SAITO: Infrared spectra of acylureas and NN'-deuterated acylureas (**42**, 619 (1969)).
- 6) In "British Journal of Nutrition"
  - (1) S. LEPKOVSKY, T. KOIKE, M. SUGIURA, M. K. DIMICK, F. FURUTA: Pancreatic amylase in chickens fed on soya-beandiets (**20**, 421 (1966)).
- 7) In "Biochemica et Biophysica Acta"
  - (1) ISAO ISHIGURO, RIKIO SHINOHARA: Purification and Properties of Kynurenine Formamidase from Rat Liver (**198**, 324 (1970)).
- 8) In "Chemical Communications"
  - (1) M. SHIRO, T. SATO, H. KOYAMA, YOSHIFUMI MAKI, KOZI NAKANISHI, SHOJIRO UYEO: The Stereochemistry of Taxinine: x-Ray Analysis of 2, 5, 9, 10-Tetra-0-acetyl-14-bromotaxinol (**1966**, 98)).
- 9) In "Journal of the American Chemical Society"
  - (1) EDWARD. C. TAYIAR, Y. MAKI, BEN, EVANS: Photochemical addition of alcohols to amidine C = N bond (**91**, 5181 (1969)).
- 10) In "Journal of Biochemistry"
  - (1) MACHIKO MIYATA, TAKESHI MORI: Studies on Denitrification X. The "Denitrifying Enzyme" as a Nitrite Reductase and the Electron Donating system for Denitrification. (**66**, 463 (1969)).
  - (2) MACHIKO MIYATA, TERUO MATSUBARA, TAKESHI MORI : Studies on Denitrification XI. Some Properties of Nitric Oxide Reductase (**66**, 759 (1969)).
  - (3) MACHIKO MIYATA, TAKESHI MORI: Studies on Denitrification VIII. Production of Nitric Oxide by Denitrifying Reaction in the Presence of Tetramethyl-*p*-Phenylenediamine (**64**, 849 (1968)).
- 11) In "Journal of Chemical Society"
  - (1) YASUO INUBUSHI, YUKIO MASAKI, SAICHI MATSUMOTO, FUMITAKA TAKAMI: Studies on the Alkaloids of Menispermaceous plants. Part CCXLIX. Total Synthesis of Optical-ly Active Natural Isotetrandrine, Phaeanthine, and Tetrandrine (1547 (1969)).
- 12) In "Journal of Insect Physiology"
  - (1) Isao Ishiguro, Bernt Lizen: Bildung von Glucosiden bei zwei Insektenarten; *Locusta migratoria* und *Bombyx mori* (**12**, 267 (1966)).
- 13) In "Japanese Journal of Medical Science and Biology"

- (1) JIRO KITAMURA, KATSUTOSHI MISE: A New Generalized Transducing Phage in *Salmonella* (**23**, 99 (1970)).
- 14) In "Journal of Organic Chemistry"
- (1) EDWARD. C. TAYLOR, YOSHIFUMI MAKI, ALEXANDER MCKILLOP: Thallium in Organic Synthesis V 9-Alkylation of purines (**34**, 1171 (1969)).
- 15) In "The Journal of Vitaminology"
- (1) AKIRA HATANO, YOSHIO KATO: Studies on Ascorbic Acid and its Complex. (N)Behavior of Copper Ion to Ascorbic Acid (**16**, 99 (1970)).
- 16) In "Mie Medical Journal"
- (1) HAJIME ITO: The Research for a Toxic Agent Involved in Rotten Meat (**16**, 1 (1966)).
- 17) In "Naturwissenschaften"
- (1) KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: Synthesis and Cleavage of Dipyridazo [[4,5-b=4,5-e]-1,4-dithiin-1,6-dione (**51**, 38(1964.))
- 18) In "Spectrochimica Acta"
- (1) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI: Infrared spectra of sulphamide and sulphamide-d<sub>4</sub> (**22**, 2065 (1966)).
- (2) TOYOZO UNO, KATSUNOSUKE MACHIDA, KAZUHIKO HANAI: Infrared spectra of benzene-and pentadeuterobenzenesulphonyl compounds. (**24A**1705 (1968)).
- 19) In "Tetrahedron Letters"
- (1) MASAYASU KURONO, YOSHIFUMI MAKI, KOJI NAKANISHI, MOTOAKI OHASHI, KANICHI UEDA, SHOJIRO UYEO, M. C. WOODS and YOSHITOMO YAMAMOTO: The Stereochemistry of Taxinine (**1965**, 1917).
- (2) SHIGEO UKAI, KAZUOHIROSE: The Reductive Reaction of 1,2-Quinones in the Mass Spectrometer (**1967**, 4999).
- (3) Y. INUBUSHI, Y. MASAKI, S. MATSUMOTO, F. TAKAMI: Total Synthesis of Optically active Natural Isotetrandrine, Phaeanthine and Tetrandrine (3399 (1968)).
- (4) HIROMU NAGASHIMA, KENJI KAJI, YASUO KIKUGAWA, SHUN-ICHI YAMADA: The Reaction of Substituted Urea with Sodium Borohydride in Pyridine (699 (1969)).
- 20) In "Journal of Heterocyclic Chemistry"
- (1) KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: The Synthesis of Substituted Pyridazines (**2**, 463 (1965)).
- (2) KENJI KAJI, RAYMOND N. CASTLE: Nucleophilic Displacement of Halogen in Pyridazine with Phosphorus pentasulfide (**3**, 79 (1966)).
- (3) KENJI KAJI, DEAN WISE, RAYMOND N. CASTLE: Dipyridazo [4,5-b=4,5-e]-1,4-dithiins (**3**, 541 (1966)).
- 21) In "Troisieme Symposium Sur Les Composés Organiques Sulfurés (Sulfur Institute)"
- (1) MIKIO HORI, TADASHI KATAOKA, YUTAKA ASAHI: Reactivities in the Quasi Aromatic Ring Systems of Oxygen and Sulfur (91 (1968)).
- 22) In "Zeitschrift für Physiologische Chemie"
- (1) ISAO ISHIGURO, BERNT LINZEN: Präparative Isolierung und Tritium-Markierung von 3-Hydroxy-L-Kynurenin (**340**, 286 (1965)).
- 23) In "Zeitschrift für Naturforschung"
- (1) ISAO ISHIGURO, BERNT LINZEN: 3-Hydroxy-Kynurenin bei *Bombyx mori* rb ... Ein neuer Tryptophanmetabolit: 3-Hydroxy-Kynurenin Glucosid (**21 b**, 132 (1966)).

## 24) In "Journal of Chromatography"

- (1) SATOSHI KAWAI, ZENZO TAMURA: Dimethylsulfoxide as a suitable solvent for trimethylsilylation of catecholamines (25, 471 (1966)).

## 25) In "Yakuzaigaku" (The Journal of Practical Pharmacy)

- (1) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (2). On Influence of Anti-acid Powder of Enzyme Preparations on Amylase Activity (24, 141 (1964)).
- (2) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (3). Changes of Amylase Activity of Digestive Enzyme Preparations by Temperature and Humidity (24, 146 (1964)).
- (3) TARO OGISO, MAMORU SUGIURA: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (4). Invalidation of Amylase Activity by Difference of Packing of Enzyme Preparations (24, 201 (1964)).
- (4) MAMORU SUGIURA, SEIKO KATO, HIDERO TANAKA: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (6). On Influence of Surface Active Agents on Protease Activity (24, 318 (1964)).
- (5) MAMORU SUGIURA, KEIZO NAGASE, TAKAFUMI ISAJI, KAZUO HIRSE: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (7). On the Lipase Produced from *Candida* species (25, 47 (1965)).
- (6) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA, SEIKO KATO: Studies on Enzyme Preparations (9). On the new Cellulase Preparation from *Aspergillus* Species (NO.1) (25, 228 (1965)).
- (7) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, MASANORI KAYANO, KAORU OHASHI: Studies on the Pharmaceutical Applications of Fatty Acid Esters of Sucrose. III. The Effect of Sucrose Fatty Acid Esters on the Blood Concentration of Sulfa Drugs (25, 285 (1965)).
- (8) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA, SEIKO KATO, KEIZO NAGASE, MIKI DOKE: Studies on Enzyme Preparations (10). Utilization of a new Cellulase Preparation Produced from *Aspergillus* species (26, 69 (1966)).
- (9) MAMORU SUGIURA, KEIZO NAGASE SEIKO KATO: Studies on Enzyme Preparations (13). On the New Lipase Preparation Produced from *Aspergillus* species (26, 296 (1966)).
- (10) MAMORU SUGIURA, HIROSHI ASANO, HIDERO TANAKA: Studies on Enzyme Preparation (13). On the New Acid Stable Protease Preparation Produced from *Rhizopus* Species (27, 31 (1967)).
- (11) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, SEIJI HIRAKU: Studies on Enzyme Preparations (15). Studies on AMP-aminohydrolase. (1). Effect of Precipitating Supporter on Enzyme Precipitation using Ethanol (27, 135 (1967)).
- (12) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, MASANORI SASAKI: Studies on Enzyme Preparations (16). AMP-Aminohydrolase (2). Removal of Phosphohydrolase with Tungstate (27, 140 (1967)).
- (13) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIROSHI ASANO: Enzyme Preparations (17). AMP-aminohydrolase. (3). Screening of Phosphohydrolase Absorption Resin (27, 185 (1967)).
- (14) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, YASUHIRO NAKA, KEIZO NAGASE: On Enzyme Preparations (X X III). On Bile-sensitive Lipase (No. 4). Comparison of Bile-sensitive Lipase (*Mucor*, *Pseudomonas* species, and Pancreas) (27, 314 (1967)).

- 
- (15) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA, KAZUTADA OKUMURA, ISAMU TAKAGI: Studies on Enzyme Preparation (26). The Influence of Hydrostatic High Pressure on Amylase Activity (28, 47 (1968)).
- (16) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA: Studies on Enzyme Preparations (27). The Deductive Method of Enzyme Purity (28, 119 (1968)).
- (17) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA: Studies on Enzyme Preparations (28). Utilization of Ion Exchange Resin on Purification of Rhizopus Enzymes (28, 129 (1968)).
- (18) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, KEIZO NAGASE: Studies on Enzyme Preparations (XXXIV). Effect of Various PVA Emulsions on Lipase Activity (28, 240 (1968)).
- (19) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, TADASHI NAKANO: Studies on Enzyme Preparations (35). Activity of Granulated Enzyme Preparations and Periodical Changes in the Activity (28, 247 (1968)).
- (20) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, SUMIO WATANABE, AKIO KOJIMA, YOSHIHIRO CHIKAMATSU: Pharmaceutical Studies on Enzymes. I.  $\alpha$ -Amylase Produced by Microorganisms (28, 254 (1968)).
- (21) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, MASAKI HASEGAWA: Specific Surface Area and Abrasion of Granules Prepared by Wet- and Dry-Molding (28, 258 (1968)).
- (22) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, AKIO KOJIMA, SUMIO WATANABE, YOSHIFUMI TAGUCHI, MAMORU SUGIURA: Pharmaceutical Studies on Enzymes. II. Proteases Produced by Microorganisms (29, 221 (1969)).
- (23) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, AKIO KOJIMA, ISAKO HATTORI: Pharmaceutical Studies on Enzymes. III. Lipases Produced by Microorganisms (29, 225 (1969)).
- (24) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, AKIO KOJIMA, MASAKI HASEGAWA, YOSHIFUMI TAGUCHI: Pharmaceutical Studies on Enzymes. IV. Pancreatin (29, 228 (1969)).
- 26) In "Eiseikagaku" (The Journal of Hygienic Chemistry)
- (1) TAMESABURO MATSUI, TARO OGISO: Researches on Smoke Injury by Fluoric Compound From a Tile Factory (I) (11, 218 (1965)).
- (2) TARO OGISO, TAMESABURO MATSUI, HIROMASA INOUE: Observation of Air Pollution by Filter Paper Method in the District of China Manufacturing (I) (12, 156 (1966)).
- (3) TAMESABURO MATSUI, TARO OGISO: Researches on Smoke Injury by Fluoric Compound From a Tile Factory (II) (12, 326 (1966)).
- (4) TARO OGISO: Observation of Air Pollution in the District of China Manufacturing II. On the Fluorine Contents in Raw Materials of China and Fluorine in Air Determined by Alkaline Filter Paper Method (13, 143 (1967)).
- (5) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, SHUICHI NARITA, KEIZO NAGASE, HIROSHI ASANO: Studies on Enzyme Preparations (XX). Studies on Bile-Sensitive Lipase (NO. 1) The Effect of Bile and Bile Acid Salt on Lipase Produced from *Mucor* and *Pseudomonas* Species (13, 257 (1967)).
- (6) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, YASUHIRO NAKA, HIROSHI ASANO: Studies on Enzyme Preparations (21). Studies on Bile Sensitive Lipase (No. 2). On the Lipase Produced by *Mucor* Species (13, 265 (1967)).
- (7) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, YASUHIRO NAKA, KEIZO NAGASE: Studies on Enzyme Preparations (22). Studies on Bile Sensitive Lipase (No. 3). On the Lipase Produced by *Pseudomonas* Species (13, 271 (1967)).



- (8) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, KAZUTADA OKUMURA, RYOICHI HATANO: Studies on Enzyme Preparations (24). Studies on Separative Determination of Filamentous Fungi Amylase. (No. 1). Separative Determination of Hydrolysis Products of Amylase (**13**, 311 (1967)).
- (9) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA: Studies on Enzyme Preparations (25). Studies on Separative Determination of Filamentous Fungi Amylase. (No. 2). Separative Determination of Amylase by Hydrolysis Curve (**13**, 319 (1967)).
- (10) YOUKI OSE, HIROKATSU AKAGI, SHOZO MORISHITA, HAYAKI NIWA, YOSHIMI FURUYAMA, ICHIRO OOKUMA: Sanitation of Swimming Pool. (VIII), Sanitation of Swimming Pool Water by Tablets of Neutral  $\text{Ca}(\text{ClO})_2$  (**13**, 330 (1967)).
- 27) In "Vitamins"
- (1) REIZABURO SAKUMA, TAKESHI SHIMAZAKI, JIRO KITAMURA, KICHITARO TAKATORI: Assay of Pantothenic Acid, Nicotinic Acid and Folic Acid with Leucomycin-resistant Lactic Acid Bacteria (**37**, 498 (1958)).
- (2) REIZABURO SAKUMA, TAESHI SHIMAZAKI, JIRO KITAMURA: Microbiological Assay of Vitamins in the Sample Containing Kanamycin with Resistant Strain of *Lactobacilli* (**37**, 504 (1958)).
- (3) YOSHIO KATO, AKIRA HATANO: Studies on Ascorbic Acid and its Complex. (III) Stability of Ascorbic Acid Stearyl ester (**40**, 149 (1969)).
- (4) AKIRA HATANO, YOSHIO KATO: Studies on Ascorbic Acid and its Complex. (V) Behavior of Copper Ion to Ascorbic Acid. (**40**, 416 (1969)).
- (5) AKIRA HATANO, YOSHIO KATO: Studies on Ascorbic Acid and its Complex. (VI) Decomposition of Ascorbic Acid. (**41**, 10 (1970)).
- (6) Rikio Shinohara, Isao Ishiguro: Activation and Inhibition of Tryptophan Oxygenase by Ascorbic Acid (**41**, 341 (1970)).
- 28) In "The Reserch Bulletin of Gifu Womwn's Junior College"
- (1) SHIGEO SENDA, HIROSHI IZUMI: Synthesis of 5- $\alpha$ -Dialkylaminoacylamino-2,4,6-trimethoxypyrimidine Derivatives (**16**, 1 (1966)).
- (2) HIROSHI IZUMI, SHIGEO SENDA: Synthesis of Urea Derivatives. (**17**, 1 (1967)).
- (3) HIROSHI IZUMI, SHIGEO SENDA: Synthesis of Malonic Acid Derivatives. (**18**, 1 (1968)).
- (4) HIROSHI IZUMI, SHIGEO SENDA: Rearrangement Ring-closure Reaction of 5-Butyl-5-hydroxy-1-cyclohexyl-2,4,6-trioxoperhydro-pyrimidine. (**19**, 27 (1969)).
- (5) SŌZABURŌ YOSHIHARA, ISAMU OKADA, MAKOTO NAKAMURA, SHŪKO YOSHIKAWA, MASARU NAKAGAMI, HIDE MI OGURA, NORIHISA MUTŌ, AKIO KOTANI, ATSUKO SOGABE: Nutritional and Hygienical Studies on the Inhabitants of Remote Places in Gifu Prefecture. 1 On Tokuyama Village (Rp. 1) (**19**, 76 (1970)).
- 29) In "Minzaku-Eisei" (Human Ecology and Race Hygiene)
- (1) SHOICHI NAGATA, ISAMU OKADA, MAKOTO NAKAMURA, YŌKO OGINO, HANA HORI, YŪKO SHINPUKU, MASARU NAKAGAMI, KUNIO TAKAHASHI, YOSHIO HAYASHI: Hygienic Studies of Japanese Farming villages (XIV). Hygienic Studies on the Farmers' Dwellings and their Way of Living in a Long-Life Section and a Short-Life Section in Shiga Prefecture (**30**, 58 (1964)).
- (2) SHŌICHI NAGATA, MAKOTO NAKAMURA, ISAMU OKADA, YŌKO OGINO, HANA HORI, MASARU NAKAGAMI, YOSHIO HAYASHI, KUNIO TAKAHASHI, YŌKO SHIN-

PUKU: Hygienic Studies of Japanese Farming Villages (XV) Hygienical Studies on the Farmer's Dwellings and their Way of Living in Gifu Prefecture (30, 65 (1964)).

(3) MASARU NAKAGAMI: Hygienic Studies on the Actual Condition of the so-called Physically Weak Children and their Physical and Health Education [ I ] The Actual Condition of the so-called Physically Weak Children (Part 1~4) (35, 41 (1969)).

(4) MASARU NAKAGAMI: Hygienic Studies on the Actual Condition of the so-called Physically Weak Children and their Physical and Health Education [ II ] A Clue to Physical and Health Education (35, 80 (1969)).

(5) MASARU NAKAGAMI: Hygienic Studies on the Actual Condition of the so-called Physically Weak Children and their Physical and Health Education [ III ] The Method of Physical and Health Education and Results of its practice (Part 1~4) (35, 87 (1969)).

30) In "Folica Pharmacologica Japonica"

(1) AKIHIDE KODA, KIMIKO SAKAI, HIROICHI NAGAI, YOSHIO SUZUKI, TASUKU KOBAYASHI: Pharmacological Actions of Morpholine Salicylate (63, 409 (1967)).

(2) AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI, HIROSHI WADA: Pharmacological Actions of Baicalin and Baicalein (Report 1) On the Active Anaphylaxis (66, 194 (1970)).

(3) AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI, HIROSHI WADA: Pharmacological Actions of Baicalin and Baicalein (Report 2) On the Passive Anaphylaxis (66, 237 (1970)).

(4) AKIHIDE KODA, EIJI KATSUTA, SHIGEKATSU WATANABE, MIZUO MIZUNO: Study on Antiallergic Effect of Chinese Drug (66, 366 (1970)).

31) In "Journal of Japan Sewage works Association"

(1) TAKAHIKO SATO: The Measurement of Oxygen utilization of Activated Sludge with Oxygen (3 (28), 36 (1966)).

(2) TAKAHIKO SATO, MASAHIRO TAKAGI: The Effect of Sodium Chloride and Sea Water on Activated Sludge (4 (37), 14 (1967)).

(3) TAKAHIKO SATO, NORIKO WATANABE: Nutritional Requirement of Activated Sludge (6, (57) 2 (1969)).

(4) TAKAHIKO SATO: Effect of Substrate Concentration on Oxygen Utilization Rate of Activated Sludge (6, (62) 33 (1969)).

32) In "Acta Scholae Medicinalis in Gifu"

(1) HIRONORI FUWA, ISAMU OKADA, MAKOTO NAKAMURA, MASARU NAKAGAMI, YOSHIO HAYASHI, KUNIO TAKAHASHI: Hygienic Studies on Tuberculosis Control of School Children. ( II ) Investigations on the Infection and Onset of Tuberculosis (12, 92(1964)).

(2) AKIHIDE KODA, SHIGERU SAWAZAKI, TASUKU KOBAYASHI, RYUJI HIBINO, AKINOBU YONEMOTO, MIDORI TAKENAKA, YOSHIO SUZUKI: Pharmacological Actions of Morpholine Salicylate. ( I ) On the toxicity and Lethal Dose (12, 177 (1964)).

(3) AKIHIDE KODA, SHIGERU SAWAZAKI, TASUKU KOBAYASHI, RYUJI HIBINO, AKINOBU YONEMOTO, MIDORI TAKENAKA, YOSHIO SUZUKI: Pharmacological Actions of Morpholine Salicylate. ( II ) On the Local Irritative Action (12, 187 (1964)).

(4) HIRONORI FUWA, MAKOTO NAKAMURA, ISAMU OKADA, MASARU NAKAGAMI, YOSHIO HAYASHI, KUNIO TAKAHASHI: Hygienic Studies on Tuberculosis Control of School Children. ( III ) Investigations on the Housing Conditions and the Conditions of Tuberculous Children's Households (13, 152(1965)).

33) In "Bunsekikagaku" (Japan Analyst)

- (1) SATOSHI KAWI, TETSUYA HATTORI, MIWAKO KOTAKI : Determination of Antipyretics in Preparations by Gas Chromatography. I (13, 872 (1964)).
  - (2) SATOSHI KAWAI, SHIGEKO HASHIBA: Gas Chromatographic Separation of Organic Acids produced by Hydrolysis of Penicillins (13, 1223 (1964)).
  - (3) TETSUYASU HATTORI, SATOSHI KAWAI, MICHINORI NISHIUMI: Determination of Antipyretics in Preparations by Gas Chromatography. II (14, 586 (1965)).
  - (4) ZENZO TAMURA, SATOSHI KAWAI: Ultraviolet Absorption Spectra of Simple Benzene Derivatives in the Vapor State (15, 64 (1966)).
- 34) In "Yosui to Haisui" (Journal of Water and Waste)
- (1) YOUKI OSE, TAIRA IKEDA, SHŌZŌ MORISHITA, SABURO YOSHIMI FURUYAMA, TAMOTSU OKADA: The Function of Refluence System Used for Water Filter-Bed (6, 397 (1964)).
  - (2) YOUKI OSE, SUMI NISHIWAKI: Sanitation of Swimming Pool (VI), Circulation System Filtration of Swimming Pool Water and the Testing Method (6, 545 (1964)).
  - (3) YOUKI OSE: Sanitation of Swimming Pool (7), Sanitation of Swimming Pool in Off-season (7, 163 (1965)).
- 35) In "Shokuhineiseigaku Zasshi" (Journal of the Food Hygienic Society of Japan)
- (1) YOUKI OSE, TAIRA IKEDA: Studies on the Vibrio Parahaemolyticus Isolated from Night Soil (I), Isolation of the Vibrio Parahaemolyticus from Night Soil (5, 206, (1964)).
  - (2) YOUKI OSE, TAIRA IKEDA, YOSHIMI FURUYAMA, ISAMU TAKAGI: Studies on the Vibrio Parahaemolyticus Isolated from Night Soil (II), Isolation of Relation of Related Bacteria to Vibrio Parahaemolyticus (6, 513, (1965)).
- 36) In "Hokuriku no Shokubutu" (The Journal of Geobotany)
- (1) MIZUO MIZUNO: The Occurrence of Pyrrosia Pekinensis CHING on Inuyama City, Owari Pvince (13, 52 (1964)).
  - (2) MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA, SHOJI SUZUKI: Ferns growing in Mt. Ibuki. Studies on the Plants in Gifu and Adjacent Prefectures. II (16, 41 (1968)).
- 37) In "Japanese Journal of Allergology"
- (1) AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI, MASAHIKO HIRAMATSU, EIJI KATSUTA: The Effect of Disodium Cromoglycate on the Anaphylactic Mediator Release from Lungs of some Species. (19, 597 (1970)).
  - (2) AKIHIDE KODA, HIROICHI NAGAI, MASAHIKO HIRAMATSU, EIJI KATSUTA, YOSHINORI HATTORI: Study on Antigenicity of Pollen Load. (19, 682 (1970)).
- 38) In "Mizushorigijutu" (Water Purification and Liquid Wastes Treatment)
- (1) TAKAHIKO SATO: Biochemical Oxidation of Volatile Organic Acids by Activated Sludge (6, (6) 19 (1965)).
  - (2) TAKAHIKO SATO: The Progressive Change of Oxygen Utilization of the Activated Sludge (11, (7) 7 (1970)).
- 39) In "SyoyaKugaku Zasshi" (The Japanese Journal of pharmacognocy)
- (1) MIZUO MIZUNO, TSUNEO NAMBA, TAKESHI SHIMANO, SHINTARO TAKAHASHI: Studies on the Berberine-containing Crude Drugs (part 1). On Coptidis Rhizomes from Jaran. (21, 31 (1967)).
- 40) In "Shokubutu-Shumi" (The Journal)
- (1) MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA: On the Pteridophyta in Samegai (Shiga Prof.)

Studies on the Plants in Gifu and Adjacent Prefectures. (25, 2 (1964)).

- 41) In "Journal of Japan Water Works Association"
  - (1) YOUKI OSE, SHOZO MORISHITA, YOSHIMI FURUYAMA, TAMOTSU OKADA, HIROKATSU AKAGI: The Structure and Function of Refluence System Used for Water Filter-Bed (402, 13 (1968)).
- 42) In "Igaku to Seibutugaku" (Medicine and Biology)
  - (1) REIZABURO SAKUMA, RIKIO SHINOHARA: Effects of Flavins upon Tryptophan Oxygenase Activity in the Rat Liver (80, 173 (1970)).
- 43) In "Journal of Japanese Society of Food and Nutrition"
  - (1) ISAO ISHIGURO, RIKIO SHINOHARA, YOSHIKO AOYAMA: Studies on the Relationship between L-Ascorbic Acid and o-Diphenol Oxidase Activity in the Radish (*Raphanus Sativus* L.) (23, 13 (1970)).
- 44) In "Yakushigaku Zasshi" (The Journal of Pharmaceutical History)
  - (1) JINKICHI YOSHIDA: An Inquiry into Comparison between the Two Histories of Japan and U. S. A. in their Pharmaceutical Industries. (4, (1) 1 (1969)).
  - (2) YOUKI OSE: The Meaning of Pharmaceutical History in Nowadays (4, (1) 19 (1969)).
- 45) In "National Institute of Radiological Sciences, Annual Report"
  - (1) WATARU NAKAMURA, EIICHI KOZIMA, YOSHIO NISHIMOTO, TOYOKO UEKUSA, YOSHIYUKI NAKAYAMA, KAZUMI TOYOSHI, YOSHIKO ITO, KAZUHITO TAKEMOTO: Studies on Medical Characteristic of Radiation Hazards (12, 81 (1969)).
- 46) In "Journal of Synthetic Organic Chemistry, Japan"
  - (1) YOSHIFUMI MAKI, MASAHIRO TAKAYA: 2-Phenyl-4, 5, 6-trichloro-3(2H)-pyridazinone (28, 462, 1970).
- 47) In "gakkohokenkenkyu" (Research Journal of School Health)
  - (1) YOUKI OSE: Studies about the Environmental Hygiene of Youth Hostel (12, (3), 88 (1970)).
- 48) In "Igaku no Ayumi" (The Journal)
  - (1) TAKESHI TANIGUCHI, HISANOBU NIITANI, GIRO INAGAKI, MASAKO TAKI, MAMORU SUGIURA: Release of Lysosomal Enzyme by lipoprotein lipase (71, 261 (1969)).
- 49) In "Gendai no Rinsho" (The journal)
  - (1) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, TADASHI NAKANO: Studies on Enzyme Preparations (36), On Disintegration and Acidproof Capacity of Marketing Digestive Enzyme Capsules with Enteric Coated Granules (2, 746 (1968)).
- 50) In "Japanese Journal of Hygiene"
  - (1) TAKAHIKO SATO: The Toxicity of Metal Ions on Activated Sludge and the Effect of EDTA Addition on the Toxicity (21, 299 (1966)).
- 51) In "JAPANESE JOURNAL OF WATER TREATMENT BIOLOGY"
  - (1) YOUKI OSE, SOYOKO TOMOKIYO, HIRISHI INOUE: Sanitation of Swimming Pool & Aquatic biota in Swimming Pool (6, 7 (1970)).
- 52) In "Proceedings of the Symposium on Chemical Physiology and pathology"
  - (1) ZENZO TAMURA, SATOSHI KAWAI: Gas Chromatography of Urinary Catecholamines. (7, 34 (1967)).
- 53) In "The Annual Proceedings of Gifu College of Pharmacy"
  - (1) YOSHIO KATO, HIROKAZU MAKIDA: On the Process of Decomposition of Riboflavin by Microorganism. (14, 38 (1964)).

- (2) ISAO ISHIGURO, JUNKO NAITO, FUKIKO NOGUCHI: Nutritional Studies on Pollen load (Part II) Effects of Pollen load on the System of Internal Section (14, 47 (1964)).
- (3) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA, SEIKO KATO, MIKI DOKE: Pharmaceutical Studies of the Antituberculous Drugs (6) The Effects of Antituberculous Drugs on the Entomotic Enzymes (14, 51 (1964)).
- (4) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA, JUNKO TANAHASHI, TARO OGISO, YOSHIO KATO: Pharmaceutical Studies on Enzyme Preparations (8) On the Enzyme Activity in Digestive Enzyme Preparations, (14, 56 (1964)).
- (5) MASAHIKO KANNO: The Expression of Confessio Amantis (14, 64 (1964)).
- (6) YOSHIFUMI MAKI, KAZUYUKI YAMANE, TAKASHI MASUGI: Studies of Rearrangement Reaction. VIII, Smiles Rearrangement on Pyridine Derivatives (9) (15, 31 (1965)).
- (7) MAMORU SUGIURA, HIDEO TANAKA, YOSHIKO KOTAKE: Pharmaceutical Studies of the Antituberculous Drugs (8) On the study of Pyridoxal Phosphate Determination by Tryptophanase (15, 33 (1965)).
- (8) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIROSHI ASANO: Studies on Enzyme Preparations (11) On the Lipase produced by Filamentous Fungi (15, 38 (1965)).
- (9) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, KAZUTADA OKUMURA: Studies on Enzyme Preparations (12) Culture Conditions of Acid Stable Protease (15, 43, (1965)).
- (10) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, JUNKO TANAHASHI: Studies on Enzyme preparations (10) On the Change of Enzyme Activity in Digestive Enzyme Preparations in Course of Time (15, 45 (1965)).
- (11) MASAHIKO KANNO: Syntax of the Infinitive in J. Gower's Confessio Amantis I (15, 51 (1965)).
- (12) MASAHIKO KANNO: The Language and Expression of Havelok the Dane (15, 73 (1965)).
- (13) MASARU NAKAGAMI, SHOICHI NAGATA, RYOICHI HAYASHI: Health and Physical Education and Hygienic Studies on the Elevation of the Physical standard of University Students (I) Results of the Inquiry on the Students of Gifu College of Pharmacy (1) The Transition of Height Weight and Girth of the chest from 1950 to 1961 from the Viewpoint of Mean Value by Age Group (15, 93 (1965)).
- (14) MASASHIKO KANNO: Confessio Amantis—Prologue (16, 1 (1966)).
- (15) MASAHIKO KANNO: Syntax of the Infinitive in J. Gower's Confessio Amantis II (16, 5 (1966)).
- (16) MASAHIKO KANNO: The Expanded Tenses in S. Maugham (16, 15 (1966)).
- (17) MINORU KAWABE: Die Präposition Die Herkunft und Verwendung (16, 35 (1966)).
- (18) YOSHIFUMI MAKI, MIKIO SUZUKI, TAKASHI MASUGI, MASAHIRO TAKAYA: Nuclear Magnetic Resonance Spectra of Pyridazinone Derivatives (16, 41 (1966)).
- (19) KENJI KAJI, HIROMU NAGASHIMA, KIYOHICO, MASHIMO, YASUHIRO NAKA, KEISUKE SHIGEZANE: Grignard Reactions VII. Synthesis of Mixed-Acylol O-Alkyl Ethers by the Reaction of Alkyl Grignard Reagents on O-Alkyl Mandelamides (16, 45 (1966)).
- (20) MIKIO HORI, HAJIME FUJIMURA, YUTAKA YAMAKAWA, CHIAKI HARA, KUNIO KITAI: Benzazacycloalkane Derivatives II (16, 61 (1966)).
- (21) MIKIO HORI, HAJIME FUJIMURA, YUTAKA YAMAKAWA, NORIYUKI MORIKAWA, MIWAKO JIN-NAI: Benzazacycloalkane Derivatives III. (16, 65 (1966)).
- (22) MIKIO HORI, HAJIME FUJIMURA, YUTAKA YAMAKAWA, MASAYOSHI OHNO

- TAKESHI AMANO: Benzazacycloalkane Derivatives (16, 68 (1966)).
- (23) TAKEO OHNO, ITSUO MORI: Determination of Mercury in Organic Mercury Compounds (16, 71 (1966)).
- (24) SHUICHI WATANABE, SHIRO TANI, YOUKI OSE: Studies on the treatment of Night Soil (I), Actulitles of the Digester for Human Excrement in Gifu Prefecture (16, 77 (1966)).
- (25) MAMORU SUGIURA, YOSHIO ICHIHARA, TOSHIYUKI SAKAI: Studies on Enzyme Preparations (18). On the Enzyme Activity of Various origin Enzyme in Ointment Agents (16, 111 (1966)).
- (26) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, TOSHIKI HAYASHI, TOSHIO OTAKE: Studies on solubilized Drug. (II) (16, 118 (1966)).
- (27) MASAHIKO KANNO: Verbs in John Gower's *Confessio Amantis* I (17, 53 (1967)).
- (28) KENJI KAJI, HIROSHI MORI, IEHISA YOSHIDA, TAKAO ICHII, HIROMU NAGASHIMA, RAYMOND N. CASTLE: Benzylthiolation with a Subsequent Selective Debenzylation on 4,5-Dihalo-3-Pyridazones (17, 66 (1967)).
- (29) TAKEO OHNO, ITSUO MORI: Mercuration of chlorofluoresceins (17, 82 (1967)).
- (30) TAKEO OHNO, HIROKO KISHIDA, NORIKO SHIMIZU: Determination of Mercury in Hair of Man (17, 88 (1967)).
- (31) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, SEIZI HIRAKU: studies on Enzyme Preparations (30) On the Enzyme Activity in Korean Enzyme Preparations (17, 94 (1967)).
- (32) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, TARO OGISO, HIDERO TANAKA, MASANORI SASAKI: Studies on Enzyme Preparations (31), Deduction of Protein Purity of Commercial Enzymes (17, 103 (1967)).
- (33) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO, HIDERO TANAKA, SEIJI HIRAKU: Studies on on Lipoprotein Lipase Produced by Microbe (2) On the determination method of lipoprotein actirty (17, 111 (1967)).
- (34) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, RYOICHI HATANO, YORIKO TANAKA: Studies on Enzyme Preparations (33). On the Xylanase and Glucanase Produced by *Aspergillus niger* (17, 117 (1967)).
- (35) YOSHIO KATO, MAMORU SUGIURA, TAKAHIKO HORIBA, TAKAKO INOKUCHI, TOSHIKO KATO: Ability of some Antacids and Antacids and their Effect on Amylase Activity (17, 124 (1967)).
- (36) YOUKI OSE: Studies on the Vibrio Parahaemolyticus Isolated from Excrements(III), Isolation of Vibrio Parahaemolyticus from Birds Excrements (17, 132 (1967)).
- (37) YOUKI OSE, ISAMU TAKAGI: Studies on the Vibrio Paraemolyticus Isolated from Excrements (IV), Electro-Microscopic Structure of Related Bacteria to Vibrio Parahaemolyticus under Static High-Pressure and the Ability of Resistance for Static High-Pressure (17, 136 (1967)).
- (38) HIDEO TAKENAKA, HAJIME ITO, HIROSHI ASANO and HIDEHIKO HATTORI: On Some physical Properties of Film Forming Mateials (17, 142 (1967)).
- (39) MASAHIKO KANNO: Prepositions in Gower's, *Confessio Amantis* (18, 13 (1968)).
- (40) MAMORU SUGIURA, HIDERO TANAKA, HIROSHI ASANO: Studies on Enzyme Preparations (29). Studies on Lipoprotein Lipase Produced by Microbe (1). Enzymatic properties of Lipoprotein Lipase produced by microbe and animal (1) (18, 47 (1968)).
- (41) MAMORU SUGIURA, TARO OGISO, TOSHIYUKI SAKAI, CHIHIRO WATABE: Studies on Enzyme Preparations (47), Pharmaceutiecal Studies on Anti-Inflammatory Enzyme Prepa-

rations (18, 54 (1968)).

- (42) ISAO ISHIGURO, RIKIO SHINOHARA: Enzymatic Hydrolysis of FAD and FMN in Animal Tissues. (18, 66 (1968)).
- (43) TAKEO ONO, YOUKI OSE: Studies on Spa (1), On Aso Spa (18, 74 (1968)).
- (44) YOUKI OSE, TAIRA IKEDA, TADASHI USUI: Studies on Public Nuisance Caused by Air Pollution (2), Air Pollution in Tajimi City (19, 1 (1969)).
- (45) YOUKI OSE, SOYOKO TOMOKIYO, RYOZO FUNASAKA: Studies on Spa (2), Studies about the Sinter Occlusion of Nagashima Spa No. 17 (19, 7 (1969)).
- (46) ISAO ISHIGURO, TAKEYUKI IKENO, YUKO INAGAWA: Studies on the Quality of commercial Honey (19, 13 (1969)).
- (47) MAMORU SUGIURA, KUNIO KANO, HIROSHI SHIMIZU: Studies on Enzymes (55), Studies on Yeast Uricase: 1, Partially purification of Yeast Uricase (19, 22 (1969)).
- (48) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: Studies on Enzymes (43), Productive Conditions of Proteinase from *Aspergillus melleus* (19, 29, (1969)).
- (49) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: Studies on Enzymes (44) Ethanol Fractionation of Proteinase from *Aspergillus melleus* (19, 37, (1969)).
- (50) MAMORU SUGIURA, MANZO ITO: Studies on Enzymes (45), Decolorization of Proteinase from *Aspergillus melleus* by Ion Exchange Resin (19, 41, (1969)).

### III —Experimental Note—

- 1) In "Eiseikagaku" (The Journal of Hygienic Chemistry)
- (1) SABRO KANNO, SHOZO FUKUI, SHOJI NAITO, MIKIHIRO KANEKO, YOUKI OSE, MASAHIRO SATO, KEIKO WATAYA, SHOZO MORISHITA: Some Improvement on Borium Chloranilate Method (13, 217 (1967)).
- 2) In "The Annual Proceedings of Gifu College of Pharmacy"
- (1) CHIKAKO ISOMA: An Improved Synthesis of 3, 6-Dihydroxy-2, 4-dimethoxy-acetophenone (17, 147 (1968)).

### IV Research Materials

- 1) In "Eiseikagaku" (The Journal of Hygienic Chemistry)
- (1) SHOZO MORISHITA, YASUTARO KASUGAI, YOUKI OSE: Fundamental Studies about the Environmental Hygiene of School (XX), Scale Exactness of meters and Weighters Used in School (10, 193 (1964)).
- (2) MASATOMO TACHI, YOSHIMI FURUYAMA, YOUKI OSE, TAIRA IKEDA, HIROKATSU AKAKI, KATSUHIKO NAKAMURO, SHOZO MORISHITA, KEIKO WATAYA etc.: Studies on Public Nuisance Caused by Air Pollution (1), Air Pollution in OGAKI-City (15, 26 (1969)).
- (3) YOUKI OSE, TAIRA IKEDA: Studies on the Pollutants in Manufactured Ice (15, 101 (1969)).
- (4) YOUKI OSE, HIROKATSU AKAKI, YUJI SHIRAKI, HARUO UKAI: Studies on the Dissolution of Zinc into Supplied Water from Zinc-coated Iron Pipes (15, 323 (1969)).
- 2) In "The Annual Proceedings of Gifu College of Pharmacy"
- (1) TAKESHI SHIMANO, MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA: List on the Herbarium of Gifu College of Pharmacy (5), List the Plant's in MIYAMA-CHŌ, Pref. Fukui (15, 110 (1965)).
- (2) TAKEO OHNO, ITSUO MORI: Recent Literatures in the Analysis of Mercury (16, 122

- 
- (1960)).
- (3) MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA, TAKESHI SHIMANO, SHIN MATSUURA: List on the Herbarium of Gifu College of Pharmacy (6) (16, 144 (1966)).
- (4) MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA, SHOSHI SUZUKI: List on the Herbarium of Cifu Collage of Pharmary (7) List of the Ferm in JAPAN (17, 150 (1967)).
- (5) MIZUO MIZUNO, TOSHIHIRO TANAKA, SHOSHI SUZUKI: List on the herbarium of Cifu College of Pharmacy (8) List of the Plants in GEINO-CHO, AGE-GUN, Pref. MIE (18, 80 (1968)).
- (6) MIZUO MIZUNO, TAKIKO KATO: Lists on the Specimen of Cifu College of Pharmacy (9) Formosa (1) (19, 53, (1969)).